

第1期土岐市 スポーツ推進計画

誰もがいつまでも
いきいきとスポーツを楽しみ
げんきを生み出すまち

市民みんなで、
スポーツしよう、楽しもう！

現状値

46.2 %

令和17(2035)年度

目標値

60.0 %

週1回以上スポーツをする人の割合

令和8(2026)年度 — 令和17(2035)年度
土岐市

第1期土岐市スポーツ推進計画

土岐市

第1期土岐市スポーツ推進計画の策定にあたって

スポーツは、私たちの心身の健康を支えるだけでなく、人々の絆を深め、地域社会に活力と笑顔をもたらす力を持っています。特に、コロナ禍という困難な経験や、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の感動を経て、私たちは社会におけるスポーツの価値を改めて深く認識することとなりました。

本市ではこれまで、「全世代健康寿命延伸事業 ときげんきプロジェクト」を中心に、市民の皆様の運動習慣づくりに注力してまいりました。このたび策定いたしました「第1期土岐市スポーツ推進計画」では、

「誰もがいつまでもいきいきとスポーツを楽しみ、げんきを生み出すまち」

を基本理念に掲げ、「ときげんきプロジェクト」を施策の柱として、市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツの喜びを実感できる地域社会を目指します。

本計画の推進にあたっては、年齢や性別、障がいの有無を問わず、多様性を尊重し包摂する環境整備に尽力いたします。特に、次代を担うこどもたちの体力向上や、ライフスタイルに応じたスポーツ機会の創出を重点的に行い、未来の土岐市を支える世代を力強く育ててまいります。

これらの取組みは、スポーツ協会や地域クラブ、教育機関、民間事業者、そして住民団体の皆様との連携によって実現されるものです。この協力の輪を広げることで、地域に根ざしたスポーツ文化を醸成し、新たな絆を育む地域コミュニティの活性化につなげてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見をいただきました市民の皆様、ご尽力賜りました策定委員会の皆様に心より感謝申し上げます。未来の土岐市がスポーツの力で「げんき」溢れるまちとなるよう、皆様と共に歩んでまいり所存です。引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和8年3月
土岐市長 加藤 淳司

目次

1. はじめに	1
01 計画策定の背景と目的	2
02 計画の位置づけと計画期間	3
03 土岐市における「スポーツ」とは	4
2. 現状と課題の整理	7
01 土岐市のスポーツを取り巻く現状	8
02 土岐市のスポーツについての現状	12
03 こどものスポーツ状況	27
04 土岐市のスポーツ環境の現状	28
05 土岐市のスポーツにおける課題と必要な取組	33
3. 基本理念・基本目標	37
01 基本理念	38
02 計画の基本目標	39
03 期待される取組主体の役割	41
4. 施策体系	43
01 施策体系	44
5. 推進施策	45
基本目標1 全ての市民がスポーツを楽しむ習慣づくり	46
基本目標2 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	50
基本目標3 スポーツを活かしたまちづくり	53
6. 目標指標	55
01 目標指標	56
7. 計画の実現性の確保	59
01 計画の推進体制	60
02 計画の進捗管理	60
8. 参考資料	61

1. はじめに

01 計画策定の背景と目的

02 計画の位置づけと計画期間

03 土岐市における「スポーツ」とは

計画策定の背景

国や県の動き、土岐市総合計画を踏まえ、スポーツを推進する指針が必要。

- 平成 23(2011)年に制定された「スポーツ基本法」に基づき、令和 4(2022)年 3 月にスポーツ庁において、今後のスポーツ施策の方向性を示した「第 3 期スポーツ基本計画」が策定されました。
- また、岐阜県においても令和 4(2022)年 3 月にスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する基本的な事項などを定めた「清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定されました。
- 土岐市においても、市民のスポーツ実施率向上を目指し、「ときげんきプロジェクト」の推進などスポーツの推進に力を入れてきました。
- 令和8年度から開始の第七次土岐市総合計画においては、ウェルビーイング(Well-Being)^{※1}の視点を取り入れながら、土岐市に関わる**全ての人が幸せに暮らし続けられる**ことを目指しています。この方針の基に多様な市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康で活力ある生活を送るための指針として、計画の策定が求められています。

計画策定の目的

多分野にわたり良好な影響をもたらすスポーツを、今後より一層推進する。

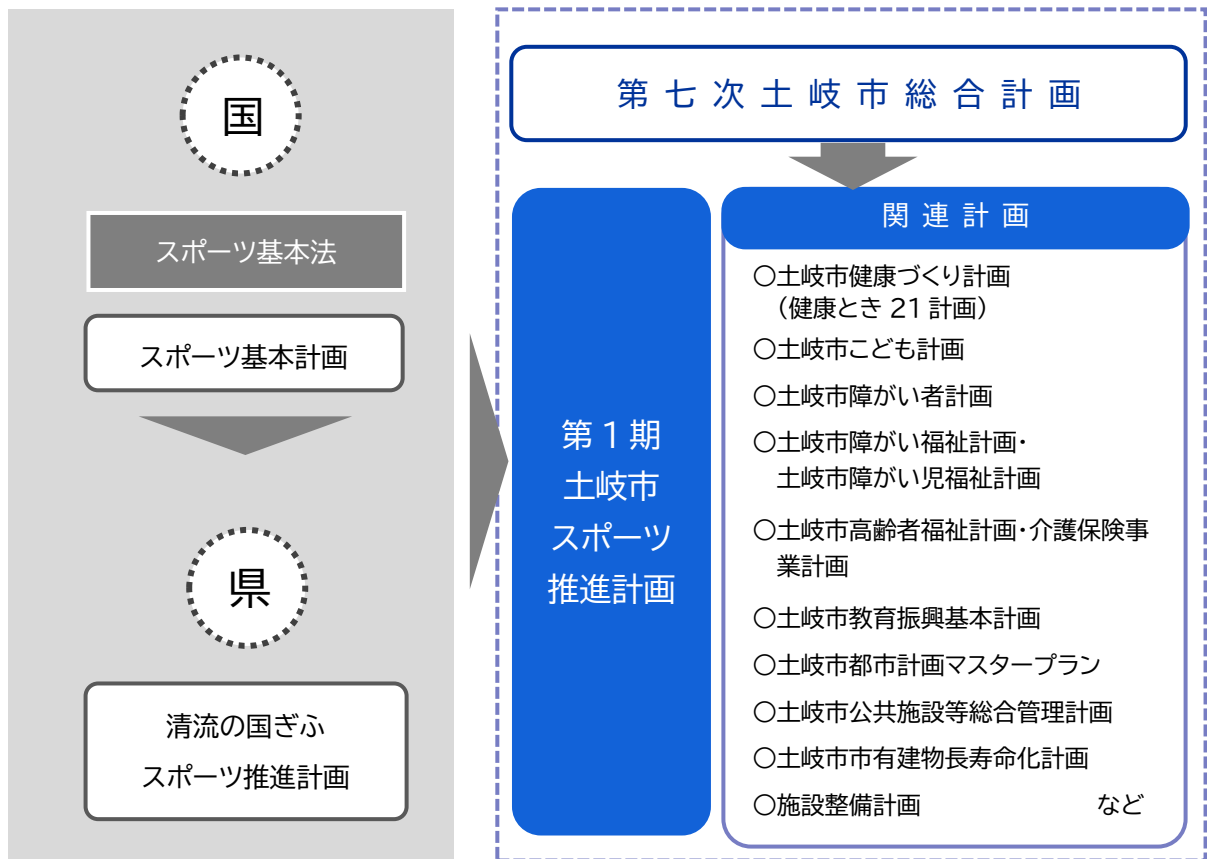
- 長寿社会を迎え、私たちの価値観は「長く生きること」から「いかに健やかに生きるか」へとシフトしつつあります。健康への関心も高まる中、土岐市においても市民の健康増進を図ってきました。健康増進のためにスポーツに取り組むことは重要であり、**医療・福祉・まちづくりなど、多分野にわたり良好な影響をもたらします。**
- より一層スポーツを推進するにあたっては、こどもから高齢者までライフステージに応じたスポーツの機会を創出し、**誰もが継続的にスポーツに親しめる環境**をつくる必要があります。また、パラスポーツ^{※2}など、多様な人が参加しやすい**スポーツのあり方を検討・発展**させる必要があります。さらに、スポーツを通じて健康の増進だけでなく、人と人との交流を育み、地域の活力を高める「スポーツを活かしたまちづくり」を推進する必要があります。
- このように、健康増進を核としながらも、様々な影響をもたらすスポーツをこれまで以上に推進するための第1期土岐市スポーツ推進計画を策定します。

※1 ウェルビーイング 単なる幸福でなく、心身の健康や社会的なつながりなど、生活全体が良好な状態にあること。

※2 パラスポーツ 障がいの有無に関わらず、誰もが参加できるよう工夫されたスポーツのこと。

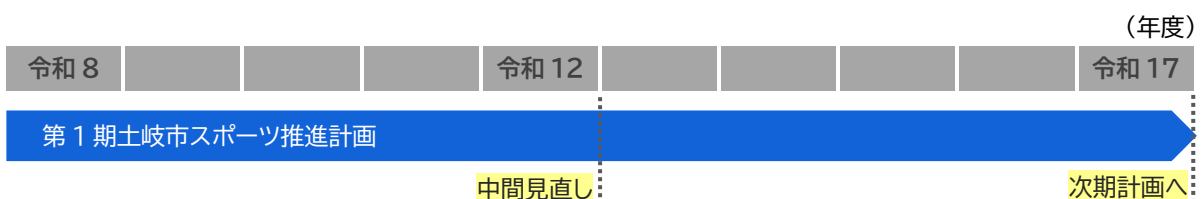
1 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条の規定に基づき策定します。国や県の計画を参酌しながら、第七次土岐市総合計画を上位計画とし、本計画に関連する市内の関連計画と連携・整合を取りながら策定します。



2 計画期間

本計画は、令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間を計画期間とします。中間年度の令和12(2030)年度に施策効果や事業の進捗などの評価を行い、計画の見直しを行います。



1 土岐市における「スポーツ」の定義

- スポーツ基本法では、「世界共通の人類の文化」であり、個人又は集団で行われる身体活動」であると示されており、国の第3期スポーツ基本計画では、スポーツは、「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、人々が感じる「楽しさ」や「喜び」に本質を持つものとされています。
- 岐阜県では、国の方針を踏まえ、第1期清流の国ぎふスポーツ推進計画の中で、「心身の健康保持・増進に重要な役割」を果たし、「健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なもの」と規定しています。
- 土岐市では、こうした国や岐阜県の考え方を踏まえ、「スポーツ」を以下のように定義します。

勝敗や記録を競う競技スポーツだけでなく、心身の健康の保持・増進、
日常生活の中での楽しみ、生活の質の向上を目的とした
すべての人が取り組みやすい自発的な身体活動のこと

- 幅広い身体活動を「スポーツ」と捉え、誰もが自然に行える動きをその一部とすることで、年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての市民がスポーツに親しめる社会の実現につなげます。
- 一人ひとりが自分に合った方法で、無理なくスポーツを継続できるようになり、スポーツは特定の人のものではなく、市民全体で共有される身近な存在となることを見据えています。
- スポーツは、レクリエーションや身体を動かす地域イベントなど、遊びや楽しみを目的とした活動も含まれます。

こうした幅広い捉え方により、スポーツを地域資源として、まちづくりにも積極的に活用していきます。



家事や散歩、外出時の自転車、階段昇降などの日常の活動

日常生活における自発的な身体運動

自分に合った身体活動を実施する

キャンプや釣り、かけっこや山登り、などの体を動かす娯楽

レクリエーション・体を動かす地域イベント

楽しむ、交流する

競技スポーツ

勝敗を競う、記録を目指す

陸上競技や球技、武道、水泳などの競技種目

参考

土岐市におけるeスポーツの位置づけ

eスポーツとは、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉で、国はコンピューターゲーム、ビデオゲーム等を使った対戦を行うスポーツ競技と示しています。

近年、eスポーツは産業的な視点から世界的に注目されており、日本でも新しいスポーツ文化として広がっています。国では、スポーツDX^{※1}や地域活性化の一環としてeスポーツの推進が始まり、岐阜県もeスポーツ活用の事例収集や相談窓口の設置などを行っています。

土岐市では、eスポーツを「電子機器を用いて、競技性を持ち他者と交流もできるスポーツ」と位置づけ、地域交流や若年層のスポーツ実施、コミュニティへの参加のきっかけづくりを検討・実施します。なお、単に娯楽として遊ぶテレビゲーム・スマホゲームは除きます。



※1 スポーツDX デジタル技術を活用してスポーツの指導・運営・観戦・施設管理などを効率化・高度化し、スポーツの価値と参加機会を向上させるもの。

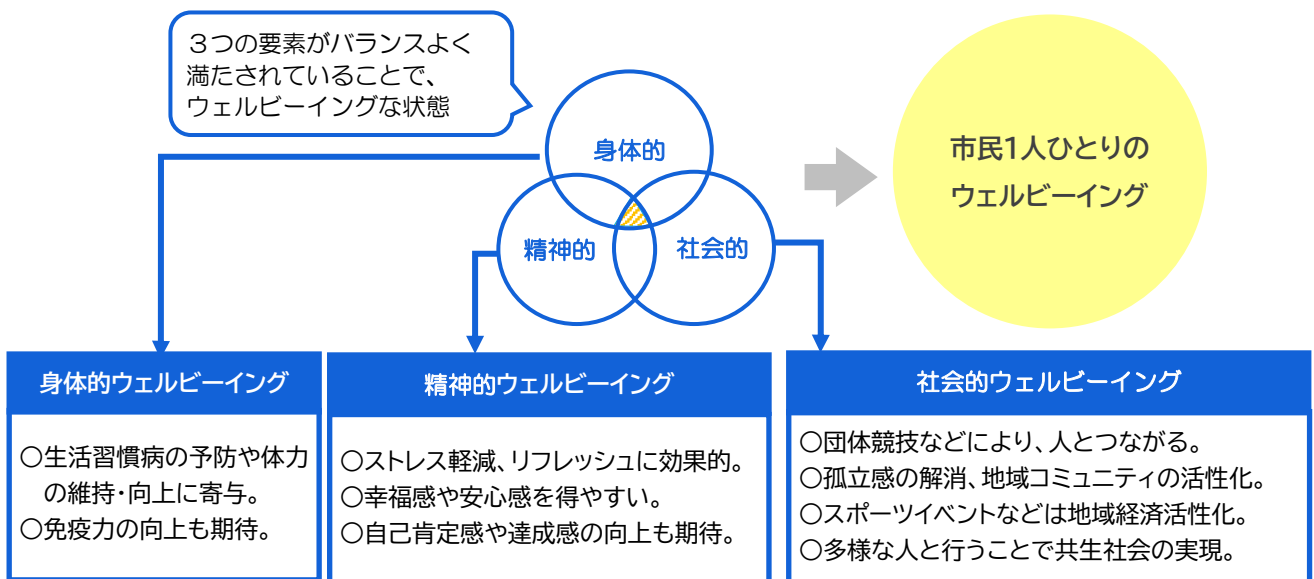
誰もが楽しみ、元気でつながる社会に寄与する「スポーツ」の価値。

スポーツ基本法において、スポーツは「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のもの」であり「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利」として定めています。

新型コロナウイルスの感染拡大のスポーツへの影響は大きく、スポーツをする機会が減少し、体力の低下や健康保持に影響がありました。また、スポーツによる達成感や感動、仲間との交流など、生活を豊かにする心の動きの機会にも大きな影響を及ぼしました。

こうしたことからスポーツの力を再認識するとともに、土岐市では、市民のウェルビーイング（≒幸福）の向上を目指すにあたって、スポーツは非常に大きな力を持つものと考えています。1人ひとりの身体的・精神的な面のみならず、年齢、性別、障がい、国籍などを超えて一緒に楽しむことのできるスポーツは、人々がつながり、交流を深めるなど社会的な面においても人々に影響を与えるものと考えています。

スポーツの力と市民1人ひとりのウェルビーイング（≒幸福）



2. 現状と課題の整理

- 01 土岐市のスポーツを取り巻く現状
- 02 土岐市のスポーツについての現状
- 03 こどものスポーツ状況
- 04 土岐市のスポーツ環境の現状
- 05 土岐市のスポーツにおける課題と必要な取組

1 国の動向

スポーツへの関心が高まり、重要性や目的も一層広がりを見せている。

- 平成 23(2011)年に 50 年ぶりに法律が改正され、スポーツ基本法が成立しました。国のスポーツに関する捉え方が大きく転換しました。
- 体力の向上や人格の形成、健康長寿社会の実現だけでなく、**地域の一体感や活力の醸成、地域社会の再生などにも寄与するものである**と示され、スポーツの役割・目的は、それまでの「心身の健全な発達」から大きな広がりをみせました。
- 東京 2020 大会をきっかけに、国内におけるスポーツへの関心は高まりをみせました。また、コロナ禍におけるスポーツ機会の喪失によって生じた閉塞感の蔓延や交流の減少などにより、スポーツによって得ていた活力が重要な価値を持つことを、改めて認識することになりました。

スポーツの価値が改めて認識された上で策定された「第 3 期スポーツ基本計画」。

- 国は、令和4(2022)年に「第3期スポーツ基本計画」を策定しました。東京 2020 大会の成果を活かしながら、社会の変化に合わせた新たな3つの視点や12の施策を設け、**スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進**など『スポーツが社会活性化等に寄与する価値』を更に高めていくこととしています。

第 3 期スポーツ基本計画のポイント

新たな3つの視点

- ①スポーツを「つくる／はぐくむ」
 - ・ 多様な主体が参画できる機会創出
 - ・ 指導者養成(自主性・自律性重視)
 - ・ スポーツ界の DX 推進
- ②スポーツで「あつまり、」ともに、つながる」
 - ・ 共生社会の実現
 - ・ スポーツ団体のガバナンス^{※1}強化
 - ・ 国際交流・協力
- ③スポーツに「誰もがアクセス」できる
 - ・ 地域スポーツ環境の整備
 - ・ アスリート育成パスウェイ^{※2}構築
 - ・ 継続的なスポーツ機会の確保

12 の施策

- ・ 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- ・ スポーツ界における DX の推進
- ・ 国際競技力の向上
- ・ スポーツの国際交流・協力
- ・ スポーツによる健康増進
- ・ スポーツの成長産業化
- ・ スポーツによる地方創生・まちづくり
- ・ スポーツを通じた共生社会の実現
- ・ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
- ・ スポーツ推進のためのハード・ソフト・人材
- ・ スポーツを実施する者の安全・安心の確保
- ・ スポーツ・インテグリティ^{※3}(公正性)の確保

※1 スポーツ団体のガバナンス スポーツ団体が透明性・公正性・説明責任を確保し、適切な意思決定と健全な運営を行うための仕組み。

※2 アスリート育成パスウェイ こどもからトップレベルまで、競技力向上のための一貫した育成段階と支援環境を体系的に整えること。

※3 スポーツ・インテグリティ スポーツにおける不正防止や公平性確保など、競技の誠実性・信頼性を守る取組。

国の動きを踏まえつつ、岐阜県の課題を解決する施策を展開。

- 令和4(2022)年度に「第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画」を策定し、「誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ」を目標にスポーツを推進しています。
- 岐阜県の課題に基づき低調なスポーツ実施率の底上げや、児童の体力低下・スポーツ離れへの対応、競技力維持、多様なスポーツの推進や、施設のバリアフリー化など、解決のための施策を掲げています。
- 国の動きに基づき東京 2020 大会の成果の継承・発展する施策を推進するとともに、SDGs^{※1}の理念に沿った「誰一人取り残さないスポーツ立県」を目指しています。

岐阜県スポーツ協会はライフステージに応じた取組で健康増進と競技力向上を目指す。

- 岐阜県スポーツ協会も県同様に令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの第4次将来構想」を策定し、スポーツ実施率の向上、人材育成、施設運営の充実を柱に、県民の健康増進と競技力向上を目指しています。
- 働く世代や子育て世代へのプログラム充実、幼児期からの運動習慣づくり、地域スポーツクラブの育成など、ライフステージに応じた支援を強化しています。

第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画のポイント

現状と課題

- ・ 週1回以上のスポーツ実施率が全国平均をやや下回っている
- ・ 特に若年女性層で「やりたい気持ち」と「実際の実施率」に差がある
- ・ 児童・生徒の体力水準は中学生で全国平均を上回るが、小学生では全国平均程度
- ・ 学年や性別により体力のばらつきがある

具体的な取組

- ・ スポーツポイント制度やオンラインイベントで参加を促進
- ・ こども向け体験型イベントや授業改善による運動習慣づくり
- ・ 地域スポーツクラブへの支援と育成
- ・ 科学的トレーニングによる競技力強化
- ・ 施設のバリアフリー化や安全対策の充実

※1 SDGs（持続可能な開発目標） 2030年までに持続可能で誰ひとり取り残さない社会を実現するために国際的に掲げられた17の目標。

健康寿命の延伸

全世代の健康寿命延伸を目指す「ときげんきプロジェクト」を実施し、市民のフレイル予防や運動習慣づくりに貢献しています。

- 「ときげんき体操」「ときげんきサーキット」
- 運動教室の開催
- ウォーキングイベントの実施



運動好きなこどもの育成

令和4年度から市内小学校の体育授業で運動好きなこどもの育成を図る5カ年計画を推進し、児童が楽しみながら体を動かす機会を提供しています。

- アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を導入
- 教職員へのACP研修の実施

学校部活動の地域展開

学校部活動の地域移行に対応し、地域クラブによる指導体制を整備、中学生の部活動を地域で受け入れています。

- 地域の人材を活用した持続可能な部活動支援
- 土岐市地域クラブ「Nice Na Toki」の組成

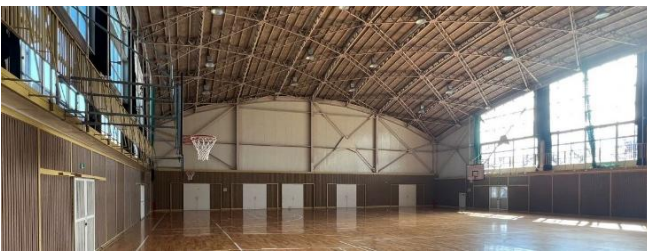
2026. 土岐市地域クラブ Nice Na Toki(ナイスなトキ) 一覧

No.	クラブ名	活動場所	加入可能生徒	体制	種目、活動日、会費	クラブの特色	代表者/申込先
2026. 土岐市地域クラブ Nice Na Toki(ナイスなトキ) 一覧							
1	バドミントン	西陵中学校、土岐市総合公園、テニスコート	西陵中学校男子生徒	単独	男子ソフトテニス 活動日 毎月11日 活動時間 18時~19時 会費 1000円 練習費 2000円	指導歴20年以上の指導者のみ、テニスの指導も受け付けて、みんなにとって最適な環境で活動できるのが魅力です。また、OBが参加し一緒にプレーすることも、幅広い世代の方の交流があります。今年は土岐中学校が地域移行しています。各校の力も結ばれています。	大野 貴司 練習指導に励んでください。そこで相談。申込をお願いします。
2	ソフトテニス	西陵中学校、土岐市総合公園、テニスコート	西陵中学校男子生徒	単独	男子ソフトテニス 活動日 毎月11日 活動時間 18時~19時 会費 1000円 練習費 2000円	指導歴20年以上の指導者のみ、テニスの指導も受け付けて、みんなにとって最適な環境で活動できるのが魅力です。また、OBが参加し一緒にプレーすることも、幅広い世代の方の交流があります。今年は土岐中学校が地域移行しています。各校の力も結ばれています。	大野 貴司 練習指導に励んでください。そこで相談。申込をお願いします。
3	IZUMIクラブ女子	泉中学校、テニスコート、土岐市スポーツセンター	土岐市、土岐南中学校、泉中学校、女子生徒	広域	女子ソフトテニス 活動日 毎月11日 活動時間 18時~19時 会費 1000円 練習費 2000円	泉中学校、泉中学校、土岐中学校の合同チームです。この中学生でも参加可能です。楽しく練習しています。練習日だけでなくマナーの啓蒙の	club.gotennis.jp @gmail.com へ申込

学校施設の開放

市内の小中学校の体育館や武道場を地域団体に開放し、社会体育の普及と市民の運動機会の確保に寄与しています。

- 地域住民が身近な施設でスポーツに親しむ環境づくり



市民スポーツ大会(町対抗)

陸上、球技、スキーなど、様々なスポーツ競技を実施・観覧できるスポーツ大会を開催しています。町対抗で地域間の交流と競争を促進し、地域コミュニティの活性化に貢献しています。



※1 健康寿命 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。

※2 フレイル予防 加齢に伴い筋力や心身の活力が低下し、健康と要介護状態の間(虚弱)にある状態のこと。

※3 アクティブ・チャイルド・プログラム こどもが「楽しみながら」「積極的に」体を動かすことを意図した運動・やスポーツのこと。

土岐市では、「いつまでも元気で楽しく過ごし、健康寿命を延ばす」を合言葉に、「全世代健康寿命延伸事業 ときげんきプロジェクト」をはじめとした様々なスポーツ事業を実施してきました。

市民参加型スポーツイベント

市民参加型のスポーツイベントが継続的に開催されており、健康づくりと地域のにぎわい創出に寄与しています。

- 土岐市民ロードレース大会の開催
- 土岐リレーマラソンの開催 など



地域スポーツイベントの開催

地域単位でスポーツイベントが開催されており、地域住民同士の交流や一体感の醸成に貢献しています。

- 地域の特色を活かしたスポーツイベントの開催

岐阜県民スポーツ大会への参加

土岐市スポーツ協会が中心となって岐阜県民スポーツ大会へ継続して参加しています。さまざまな種目で構成され、総合4位への入賞もあるなど、競技力向上にも貢献しています。

- 岐阜県民スポーツ大会への参加



焼津市と連携したスポーツ交流

競技力向上と市民の親睦を図っています。スポーツを通じた都市間交流を推進しています。

- スポーツ姉妹都市焼津市との交流
- スポーツを通じた都市間交流の推進



スポーツ推進委員によるスポーツ教室の開催

土岐市スポーツ推進委員は、誰もが気軽に参加できるスポーツ機会を提供しており、市民の健康づくりと運動習慣の定着に寄与しています。

- ノルディックウォーキング教室の開催
- 親子スポンジテニス教室の開催
- バランスボール教室の開催など



1

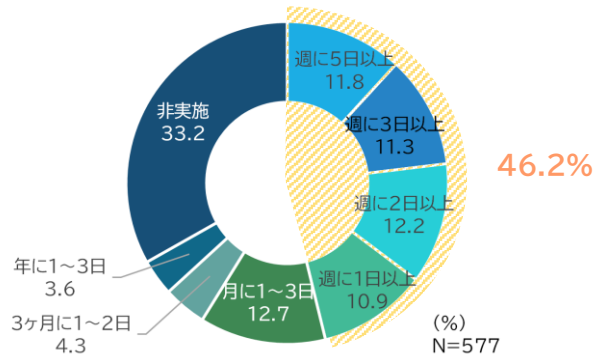
スポーツの実施状況(定期的なスポーツの実施)

スポーツ実施率は全国や岐阜県平均よりも低く、46.2%。

20歳以上のスポーツ実施率は46.2%

で、全国平均(R6、52.5%)、岐阜県平均(R4~6合算、47.8%)と比較し低い状況です。週に1回以上スポーツをしていない市民は、30歳代の61.7%が最も多く、20歳代の60.6%が続きます、6割を超えています。

スポーツ実施率



年代別スポーツ実施率

	週に5日以上	週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上	月に1~3日	3ヶ月に1~2日	年に1~3日	スポーツしない (%)
全体 N=576	11.8	11.3	12.2	10.9	12.7	4.3	3.6	33.2
20歳代 N=33	9.1	9.1	15.2	6.1	9.1	6.1	6.1	39.4
30歳代 N=60	8.3	8.3	11.7	10.0	10.0	6.7	3.3	41.7
40歳代 N=77	6.5	6.5	13.0	15.6	18.2	9.1	9.1	31.2
50歳代 N=107	7.5	15.0	11.2	12.1	11.2	6.5	9.3	27.1
60歳代 N=110	11.8	14.5	11.8	12.7	11.8	1.8	1.8	33.6
70歳代 N=113	18.6	13.3	11.5	7.1	13.3	2.7	2.7	31.0
80歳代以上 N=76	17.1	6.6	13.2	10.5	13.2	2.6	2.6	36.8

(%)

属性	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
実施率	46.2	39.4	38.3	41.6	45.8	50.9	50.4	47.4

2

実施したスポーツの種目

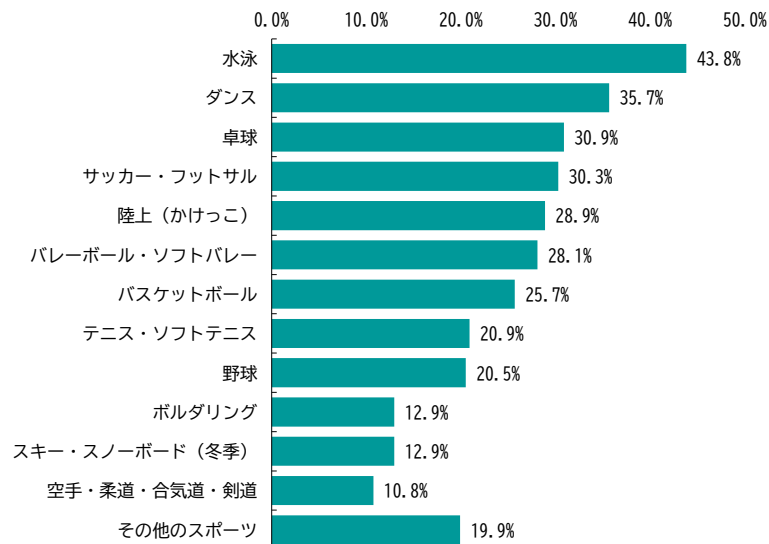
1人でも実施できるスポーツを行う人が多い。

こどもが学校外で実施したスポーツは、「水泳」が43.8%で最も多くなっています。次いで「ダンス」が35.7%、「卓球」が30.9%と続いています。

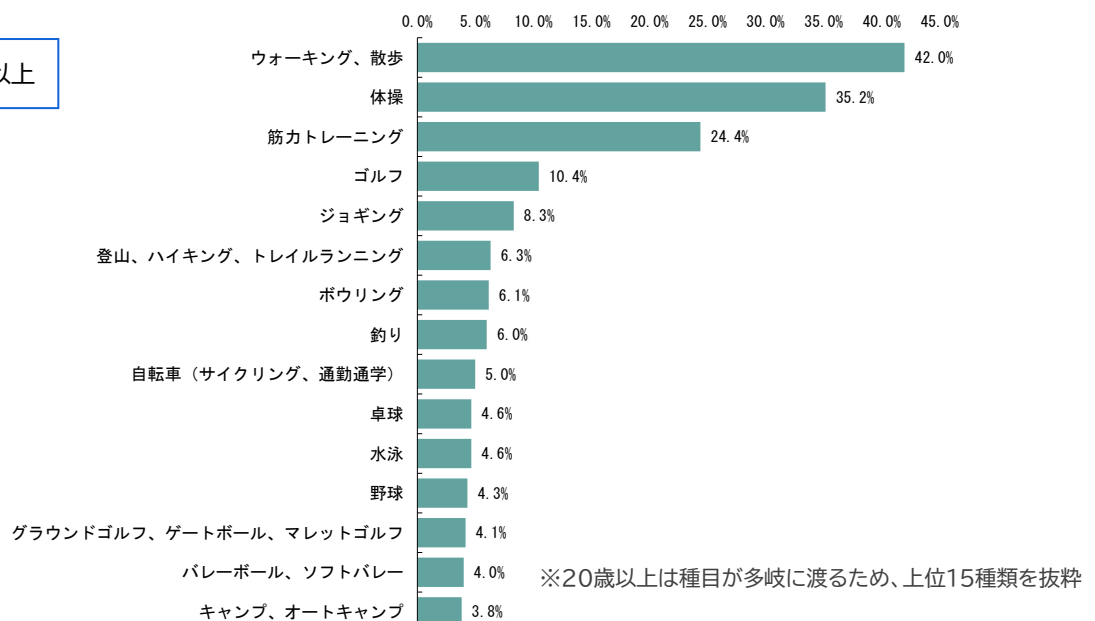
20歳以上では「ウォーキング、散歩」が42.0%で最も多くなっています。次いで「体操」が35.2%、「筋力トレーニング」が24.4%と続いています。**1人で実施できる種目が上位に上がっています。**

実施したスポーツ

こども



20歳以上



3

ライフステージ別スポーツ未実施の要因

こども：進学の日々の時期でスポーツを終了する傾向がある。

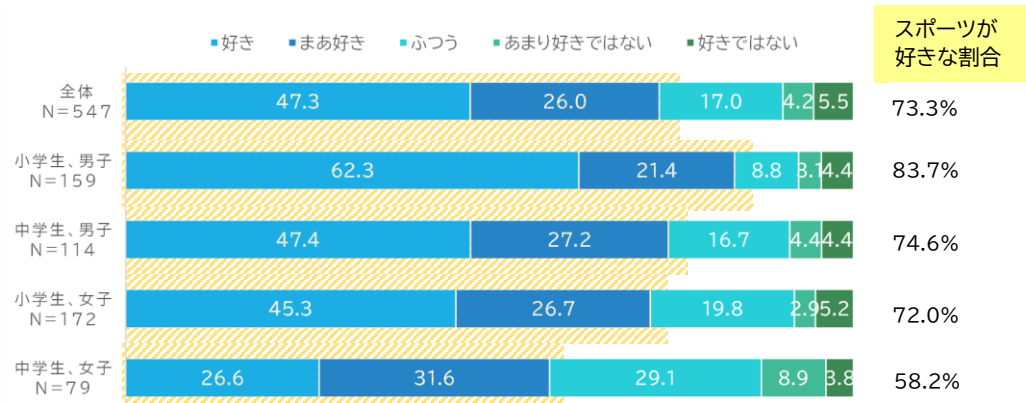
こどもについては、全体で「興味がない・好きではないから」が47.0%と最も多く、次いで「苦手・上手にできないから」が37.9%となっています。

こどものスポーツへの好意は、スポーツが好きなこどもが全体で73.3%と多く、岐阜県全体よりも高くなっているものの、年齢が上がるにつれ、スポーツへの好意が薄れ、**進学の日々の時期でスポーツを終了する意向を持つこどもが、60.2%**となっています。

スポーツをしない理由

	N	好きではないから	上手にできないから	身体を動かすのがめんどうだから	勉強や習い事が忙しいから	一緒にやる友だちがいないから	家の近くにスポーツをする場所やクラブがないから	スポーツする場につれて行つてくれないから	教えてくれる人がいないから	特に理由はない	その他
全体	66	47.0%	37.9%	31.8%	16.7%	16.7%	12.1%	12.1%	10.6%	24.2%	6.1%
小学生、男子	12	58.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%
中学生、男子	15	46.7%	33.3%	46.7%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	6.7%
小学生、女子	16	37.5%	50.0%	6.3%	12.5%	6.3%	12.5%	12.5%	6.3%	31.3%	0.0%
中学生、女子	17	41.2%	35.3%	41.2%	23.5%	29.4%	17.6%	23.5%	23.5%	23.5%	5.9%

スポーツへの好意



こども時代には、県全体よりスポーツへの好意が高い

○岐阜県全体のこどものスポーツへの好意

小学生男子(小5) 73.1%

小学生女子(小5) 54.5%

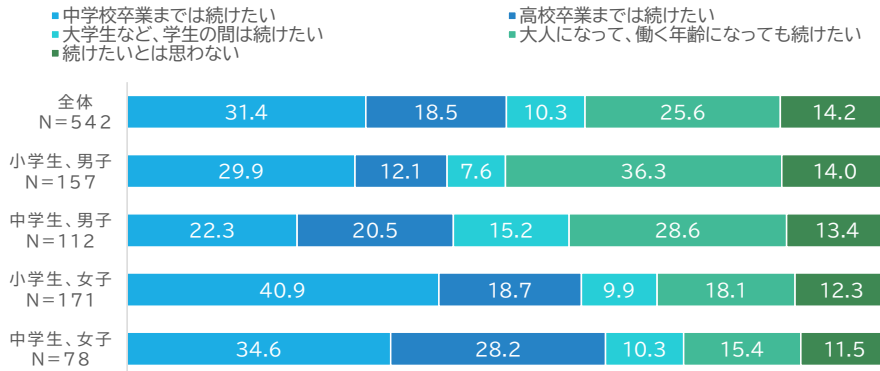
中学生男子(中2) 64.0%

中学生女子(中2) 42.4%

※令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

参考

スポーツ継続の意向

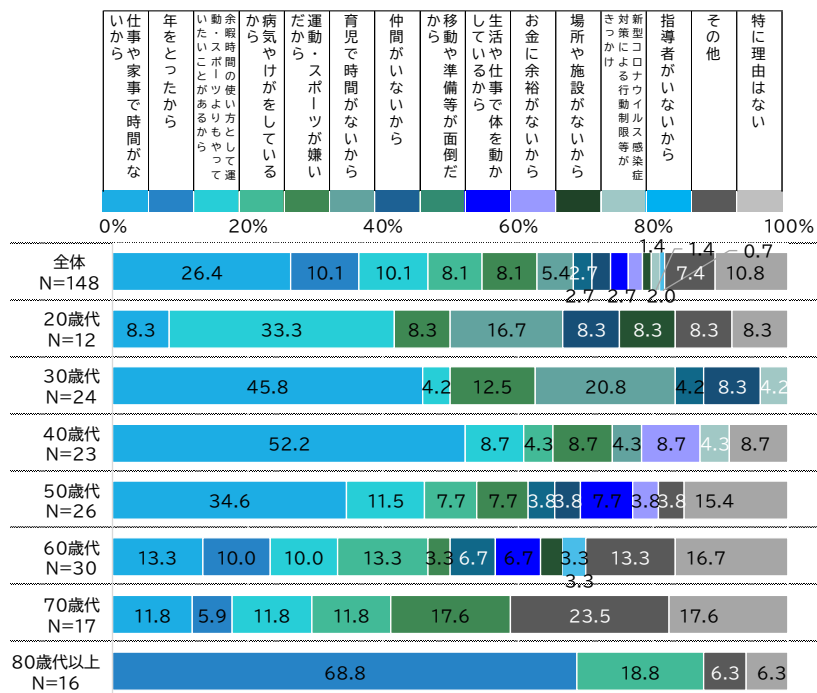


20歳以上:仕事、子育てでスポーツの時間が取れないうちに、興味が薄れる可能性。

20歳以上の市民については、各年代で異なるものの、30から50歳代の「仕事や家事で時間がないから」が最も多くなっています。30歳代の「育児で時間がないから」も含めると30から40歳代の半数以上が仕事・家事・育児が忙しく余暇の時間がないことがスポーツをしない要因となっています。20歳代では「運動・スポーツよりもしたいことがある」が33.3%と他の年代よりも多い特徴があります。

60歳代以上では、「仕事や家事で時間がないから」は減少するものの、実施率は50%前後に留まり「もっとやっていたいことがある」や「運動・スポーツが嫌いだから」が増加しています。

スポーツをしない要因

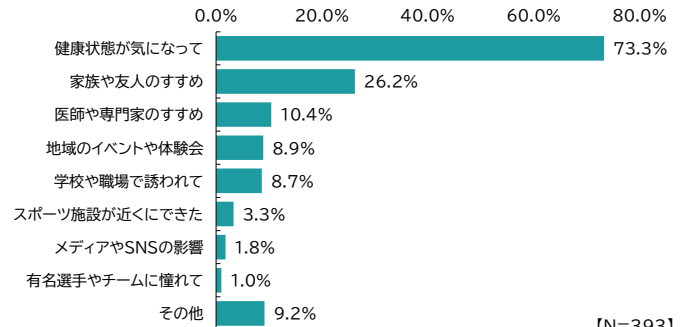


4 スポーツ実施のきっかけ

健康意識の高まりが最も大きなきっかけになっている。

スポーツを実施したきっかけは、「健康状態が気になって」が73.3%で最も多くなっています。次いで「家族や友人のすすめ」が26.2%で続いています。

スポーツを実施したきっかけ(20歳以上)



5 スポーツの実施意向

こどもは、「バレーボール・ソフトバレー」大人は「体操」が人気。

実施意向の高いスポーツは、こどもは「バレーボール・ソフトバレー」が23.6%で最も人気が高く、「水泳」「ダンス」が続いています。20歳以上では「体操」が35.3%で最も多くなっています。次いで「筋力トレーニング」が31.3%、「ウォーキング・散歩」が28.2%が続いています。

スポーツ実施意向

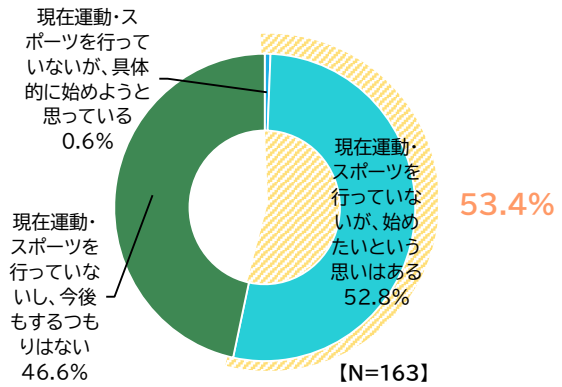
		(%)										
こども	542票	バレーボール・ソフトバレー	水泳	ダンス	テニス・ソフトテニス	卓球	サッカー・フットサル	スキー・スノーボード	バスケットボール	野球	陸上	
		23.6	19.4	19.0	18.8	17.9	17.5	15.3	15.1	15.1	14.2	
20歳以上	326票	体操	筋力トレーニング	ウォーキング・散歩	登山・ハイキング・トレイルランニング	水泳	釣り	ゴルフ	ボウリング	キャンプ・オートキャンプ	卓球	
		35.0	31.3	28.2	16.3	14.4	13.5	11.3	11.3	11.3	10.7	

スポーツをしていない人の潜在ニーズは高く、約過半数。

現在スポーツを行っていない市民のスポーツを始めたい意向は、「始めたいという思いはある」が52.8%で最も多くなっています。「具体的に始めようと思っている」は0.6%で、合計すると**スポーツを実施したい意向を持つ市民の割合は、53.4%**となっています。

年齢別では、20～60歳代の幅広い年齢でスポーツの実施意向があり、特に**30歳代**では、**85.7%**となっています。

スポーツをしていない人の今後の意向



年代別スポーツをしていない人の今後の意向

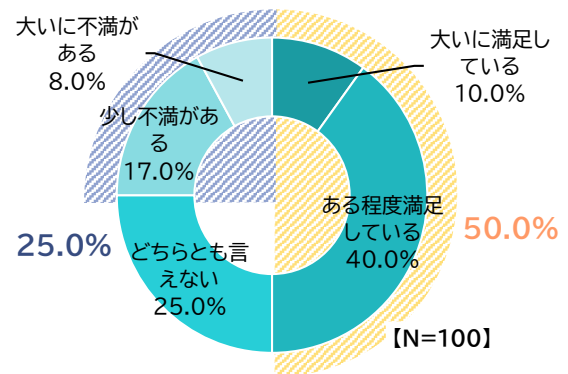
	現在運動・スポーツを行っていないが、具体的に始めようと思っている	現在運動・スポーツを行っていないが、始めたいという思いはある	現在運動・スポーツを行っていないし、今後もしない
20歳代 N=11	54.5%		45.5%
30歳代 N=21	85.7%		14.3%
40歳代 N=24	62.5%		37.5%
50歳代 N=28	53.6%		46.4%
60歳代 N=34	61.8%		38.2%
70歳代 N=23	4.3%	26.1%	69.6%
80歳代 N=22	22.7%		77.3%

設備や用具、利用手続きについて改善を望む利用者の声が多い。

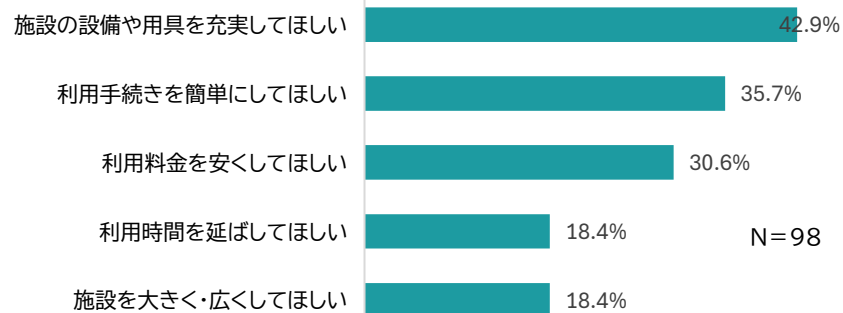
市内の公共スポーツ施設の利用者の満足度は、「満足している」が50.0%となっており、「不満がある」は25.0%となっています。

施設に対する希望については、「施設の設備や用具」が42.9%で最も多く、次いで「利用手続きを簡単化」が35.9%、「利用料金を安くしてほしい」が30.6%が続いています。基本的な使いやすさへのニーズが高い傾向が見られます。

スポーツ施設の満足度



スポーツ施設への希望

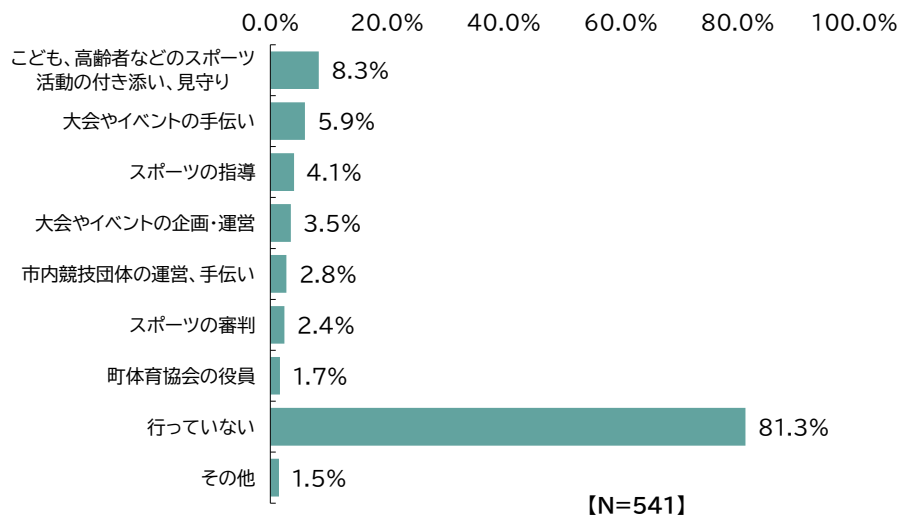


スポーツに関する支援活動をおこなっている人は全国と比較すると多い。

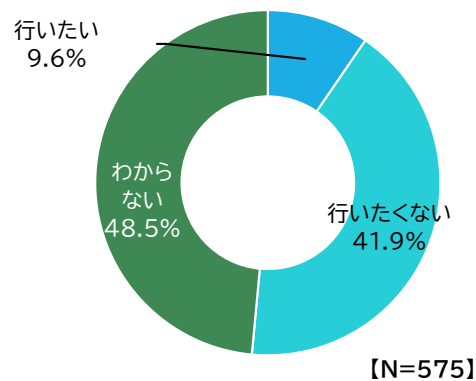
スポーツに関する支援活動を行っている人は、18.7%で、**全国の割合9.9%**(R5年度スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」)**を大きく上回っています。**

今後の活動意向については、「行いたい」は、9.6%に止まっています。

スポーツに関する支援活動実施状況



スポーツに関する支援活動に関する意向

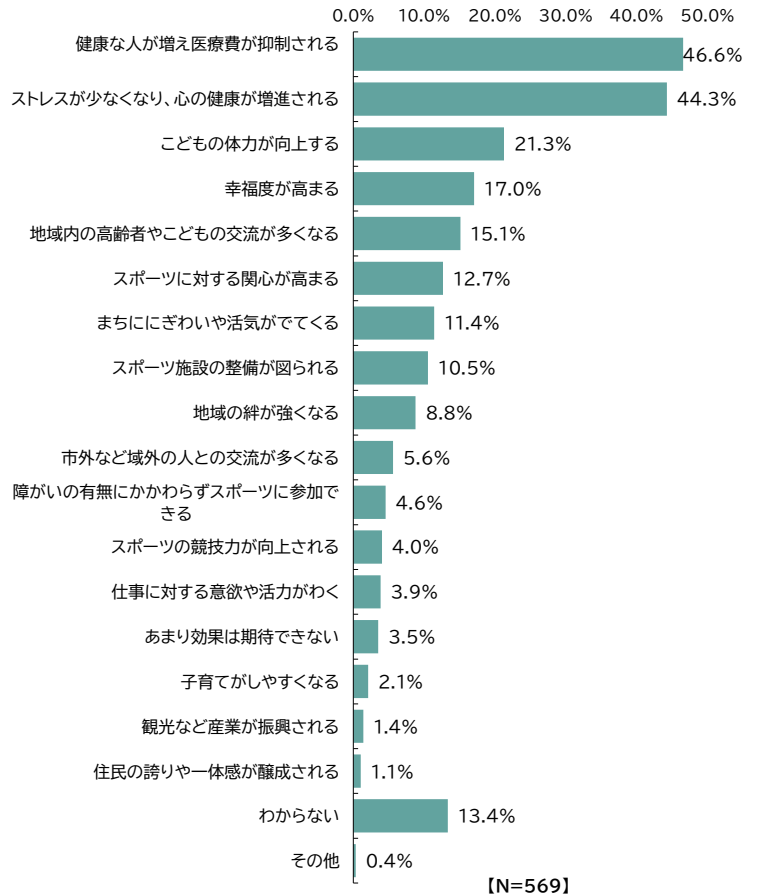


スポーツを行った市民の方が生活への満足度が高い傾向がある。

スポーツがまちに与える効果について、「健康な人が増え医療費が抑制される」が46.6%と最も多くなっています。次いで、「ストレスが少なくなり、心の健康が推進される」「こどもの体力が向上する」が続いています。全体として、**スポーツは健康・心身の充実に大きく貢献する**ものとして認識されています。

スポーツを行った市民の「幸せを感じる」割合は、59.2%となっており、スポーツを行っていない市民の「幸せを感じる」割合の40.6%と比較し、**スポーツを行った市民の方が生活への満足度が高い傾向**があります。

市民が思うスポーツの効果



スポーツ実施者の生活への満足度

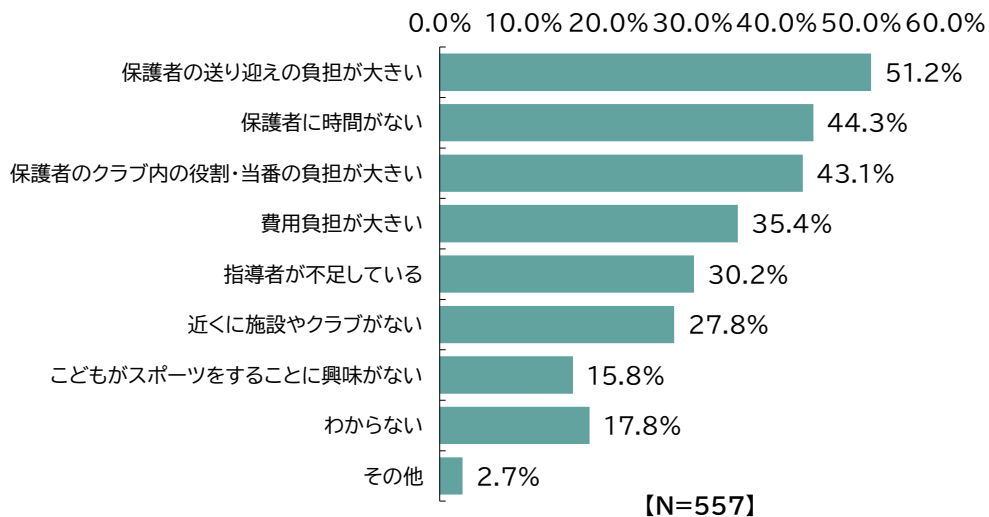
	N	幸せでない		あまり幸せでない		普通		まあまあ幸せ		幸せを感じる		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体	565	1.4	2.5	7.3	6.2	18.6	10.8	17.0	22.1	6.4	7.8	
行った	385	1.0	1.6	5.5	6.2	15.3	11.2	19.7	24.2	7.5	7.8	59.2
行っていない	180	2.2	4.4	11.1	6.1	25.6	10.0	11.1	17.8	3.9	7.8	40.6

保護者の送り迎えやクラブ内での活動負担、時間的制約が大きい。

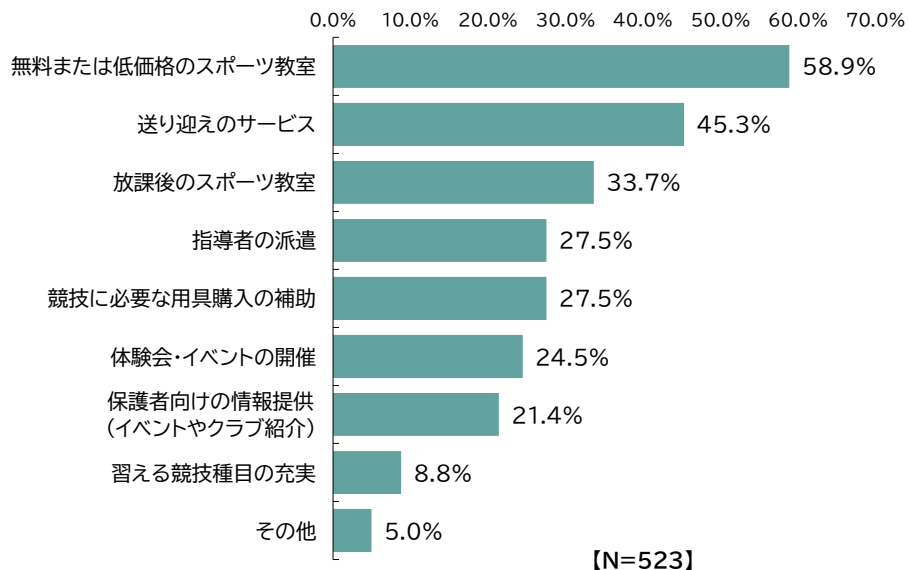
こどもがスポーツを実施する際の課題は、「送り迎えの負担が大きい」が51.2%と最も多く、「保護者に時間がない」や「クラブ内の役割・当番の負担が大きい」など、**保護者に時間的な負担感がある**ことがうかがえます。

市に求める**習慣づくりへの支援**については、「**無料または低価格のスポーツ教室**」が58.9%と最も多く、「**送り迎えのサービス**」や「**放課後のスポーツ教室**」が続いています。

こどものスポーツ実施の課題



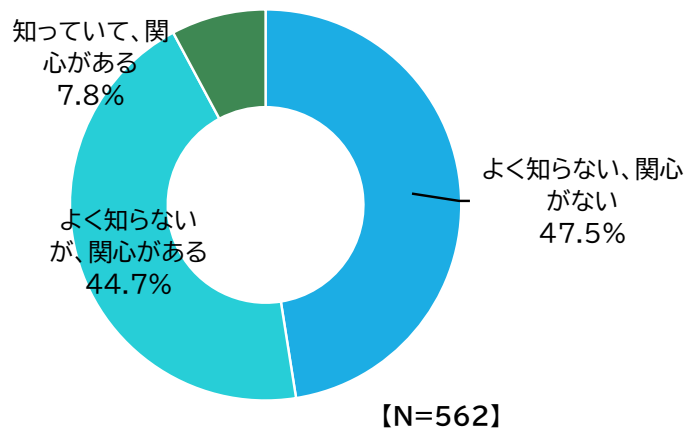
こどものスポーツ習慣づくりへの支援



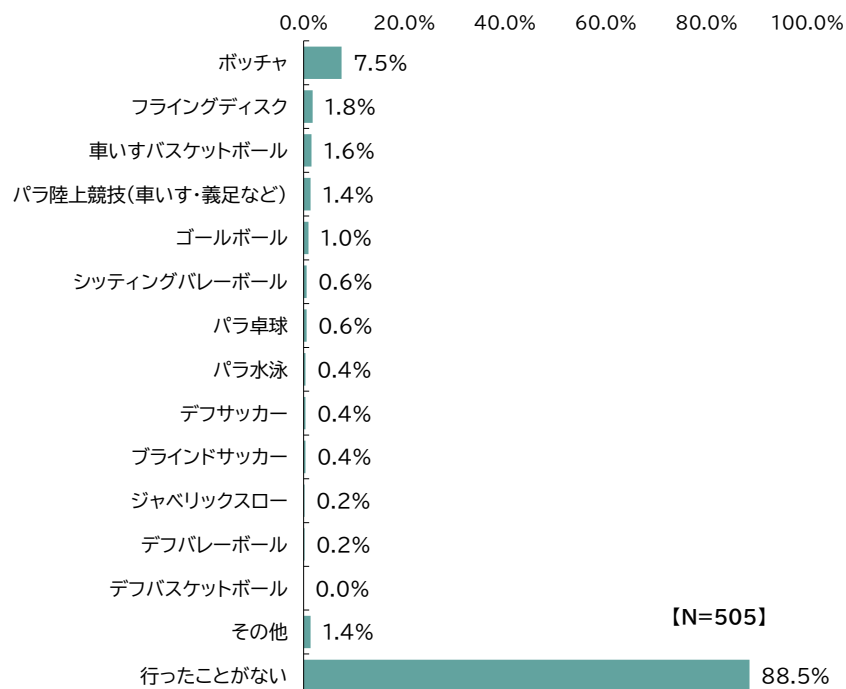
障がい者スポーツに関心はあるが、実施したことがない人が多い。

障がい者スポーツの認知度は、「よく知らないが関心がある」が44.7%あり、「知っていて、関心がある」は7.8%にとどまっていますが、合わせると**半数以上の市民が関心を持っています**。しかし、実施状況を見ると、**88.5%の市民が行ったことがない**状況です。

障がい者スポーツの認知度



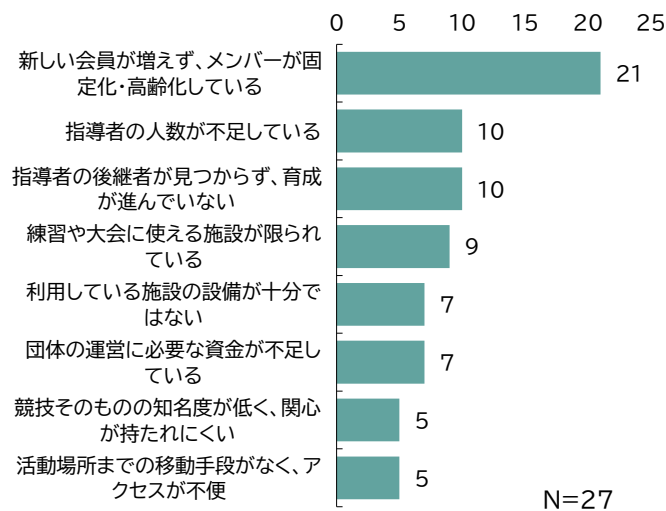
種目別障がい者スポーツの実施経験



メンバーの固定化・高齢化、指導者不足など人材不足が主な課題。

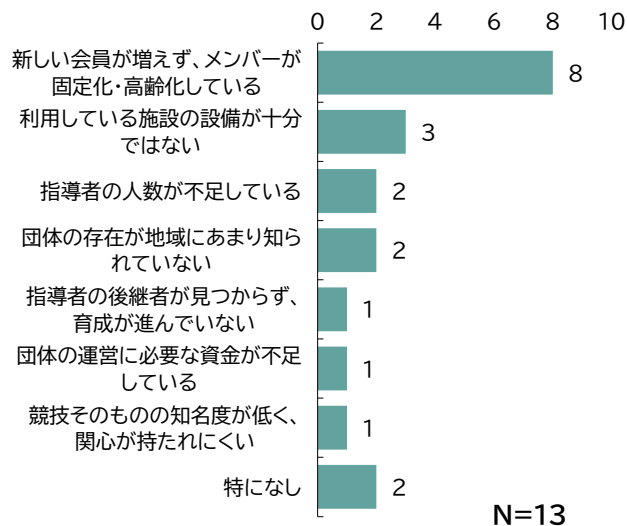
スポーツ関連団体が感じている課題について、「メンバーの固定化・高齢化」が最も多く、協会団体等で21票、競技団体で8票となっています。協会団体等では、「指導者」についての課題が続きます。その他、競技団体ともに「利用施設」に関する意見が挙げられています。

協会団体等



※上位8位までの課題を抜粋

競技団体



12 市のスポーツ施策について

満足度：不満の割合が多いが、市のスポーツ施策の認知度自体が低い。

スポーツ施策の満足度については、不満の割合の方が多くなっています。
特に「スポーツ施設等の整備」と「トップレベルのスポーツに触れる機会の創出」についての不満の割合が多くなっています。

全体的に「わからない」の割合が多く、市の施策が認知されておらず評価できない人が多いことがうかがえます。

スポーツ施策の満足度

	満足度					N	満足度		
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない		満足	不満	差異
1. 市のスポーツの取組について総合的な評価	2.4%	16.8%	11.4%	63.0%	7.4%	535	19.3	17.8	1.5
2. 子どものスポーツ参加の促進	0.8%	10.2%	14.6%	66.5%	8.0%	100	10.9	22.6	-11.7
3. 子どもの運動能力向上や心身の成長	1.3%	11.8%	17.7%	60.6%	8.6%	523	13.1	26.3	-13.2
4. 成人のスポーツ参加の促進	1.3%	13.4%	15.3%	63.3%	6.7%	523	14.7	22.0	-7.3
5. 高齢者のスポーツ参加の促進	2.3%	14.4%	13.3%	63.9%	6.1%	526	16.7	19.4	-2.7
6. 障がい者のスポーツ参加の促進	1.1%	3.4%	9.2%	76.3%	5.0%	523	9.6	14.1	-4.5
7. スポーツイベントの開催・支援	2.3%	13.3%	13.1%	63.8%	7.5%	519	15.6	20.6	-5.0
8. スポーツ教室・講習会の開催	1.7%	13.1%	13.5%	65.6%	6.0%	518	14.9	19.5	-4.6
9. トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	1.1%	14.9%	15.3%	62.7%	5.9%	523	7.1	30.2	-23.1
10. スポーツ施設等の整備	2.3%	11.3%	20.4%	46.4%	19.7%	524	13.5	40.1	-26.6
11. スポーツ施設の利便性の向上	1.5%	10.2%	17.4%	60.0%	10.9%	522	11.7	28.4	-16.7
12. 競技スポーツの向上(競技人口やレベル)	1.0%	6.7%	15.2%	69.6%	7.5%	520	7.7	22.7	-15.0
13. スポーツ指導者の育成・活用	1.1%	5.9%	16.6%	66.9%	9.5%	525	7.0	26.1	-19.1
14. スポーツ活動団体の育成・支援	1.3%	7.5%	16.2%	67.7%	7.3%	520	8.8	23.5	-14.7
15. スポーツ情報提供の充実	1.5%	10.7%	17.7%	61.3%	8.8%	525	12.2	26.5	-14.3
16. まちづくりや観光へのスポーツの活用	1.3%	7.8%	13.7%	66.8%	10.3%	513	9.2	24.0	-14.8

重要度：過半数以上がスポーツ施策は重要と捉えている。

スポーツ施策の重要度については、56.3%が「重要」となっています。個々の施策については、「こどもの運動能力向上や心身の成長」について「重要」の割合が最も多くなっています。

「スポーツ施設等の整備」「スポーツ施設の利便性の向上」なども重要な割合が多くなっています。「こどものスポーツ参加の促進」「高齢者のスポーツ参加の促進」「スポーツ指導者の育成・活用」も重要度が6割を超えています。

スポーツ施策の重要度

	重要度					N	重要	重要でない	差異
	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない				
1. 市のスポーツの取組について総合的な評価	22.1%	34.2%	7.7%	34.2%	1.7%	517	56.3	9.5	46.8
2. 子どものスポーツ参加の促進	30.9%	33.1%	3.9%	30.5%	1.6%	514	64.0	5.4	58.6
3. 子どもの運動能力向上や心身の成長	44.5%	25.6%	2.3%	26.6%	1.0%	519	70.1	3.3	66.8
4. 成人のスポーツ参加の促進	14.3%	39.5%	12.1%	31.6%	2.5%	519	53.8	14.6	39.2
5. 高齢者のスポーツ参加の促進	22.5%	37.5%	8.5%	28.8%	2.7%	520	60.0	11.2	48.8
6. 障がい者のスポーツ参加の促進	21.4%	33.4%	6.0%	37.3%	1.9%	518	54.8	7.9	46.9
7. スポーツイベントの開催・支援	21.5%	35.8%	9.2%	30.5%	2.9%	511	57.3	12.1	45.2
8. スポーツ教室・講習会の開催	18.5%	39.6%	9.9%	29.4%	4.5%	513	58.1	12.5	45.6
9. トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	20.2%	31.1%	14.2%	30.1%	1.3%	515	51.3	18.6	32.7
10. スポーツ施設等の整備	39.5%	30.4%	4.4%	24.3%	1.9%	519	69.9	5.8	64.1
11. スポーツ施設の利便性の向上	34.7%	31.9%	6.0%	25.5%	3.6%	521	66.6	7.9	58.7
12. 競技スポーツの向上(競技人口やレベル)	20.0%	31.0%	12.6%	32.8%	3.6%	506	51.0	16.2	34.8
13. スポーツ指導者の育成・活用	28.8%	31.3%	8.1%	29.0%	3.7%	518	60.0	11.0	49.0
14. スポーツ活動団体の育成・支援	26.1%	32.4%	9.5%	28.4%	3.7%	518	58.5	13.1	45.4
15. スポーツ情報提供の充実	22.3%	35.0%	11.1%	29.1%	2.5%	515	57.3	13.6	43.7
16. まちづくりや観光へのスポーツの活用	19.3%	29.8%	12.5%	34.5%	3.9%	513	49.1	16.4	32.7

1 こどもの体力・運動能力

土岐市のこどもの体力・運動能力の平均値は、全国平均より低い。

令和5年度に実施した市内小学校2校(5・6年生)と中学校2校(1～3年生)の新体力テストの全国比較では、小学校2校の両学年男女ともに下回っています。中学校2校では3年生女子のみ平均程度でしたが、その他の学年の男女は全国平均を下回っています。**特に小学生の体力低下が顕著**にみられる結果となりました。

2 中学校部活動の地域展開の状況

中学校部活動の地域展開は円滑に進行中。

土岐市地域クラブ「Nice Na Toki」(ナイスなとき)を立ち上げ、令和7年度開始時点で**41団体**が登録しています。所属できる生徒を学校区に限定しないクラブが18あり、生徒のクラブ選択の幅が広がっています。また、**学校部活動にない種目のクラブが誕生**しています。

種目別土岐市地域クラブ加盟団体数

	競技	加盟団体数		競技	加盟団体数
1	ソフトテニス(男子・女子)	9	8	軟式野球	1
2	バレーボール(男子・女子)	8	9	ソフトボール	1
3	剣道	4	10	ウェイトリフティング	1
4	卓球	3	11	ダンス	1
5	陸上競技(含:棒高跳)	4	12	ブラジリアン柔術	1
6	バスケットボール(男子・女子)	3	13	吹奏楽	4
7	サッカー	1		合計	41

1 各種スポーツイベントの開催状況

年間を通して様々なスポーツイベントを実施している。

スポーツを始めるきっかけや生涯スポーツにつながる取組として、スポーツイベントを実施しています。市スポーツ大会を主催するほか、市民ロードレース大会などのイベントや、ノルディックウォーキング教室、親子スポンジテニス教室など様々な世代への教室を実施しています。

この他にも民間事業者と連携し、健康増進を目的としたスポーツイベントなどを不定期に開催しています。

スポーツイベントの開催状況

開催月	イベント名
5月～	市民スポーツ大会
5月	新緑ノルディックウォーキング
5月	ときげんきサーキット教室
6月、10月	トレーニング講座
6月～	親子スポンジテニス教室
11月	秋のノルディックウォーキング
11月	市民ロードレース大会
12月	親子バランスボール教室
2月	土岐リレーマラソン

地域交流につながりやすいスポーツイベント・行事への参加率が低い。

何らかのスポーツイベント・行事に参加したことがある割合が50.7%に止まっています。
 「町内会・自治会や行政などが主催する地域のスポーツイベント・行事」への参加は、
 27.1%に止まっています。

スポーツイベントの参加状況

	N	スポーツイベント・行事に参加したことがない	町内会・自治会や行政などが主催する地域のスポーツイベント・行事	競技団体が主催する大会	職場(大学などを含む)で企画されたスポーツイベント・行事	民間の企業が企画したスポーツイベント・行事	その他
全体	292	49.3%	27.1%	14.0%	9.9%	9.2%	5.5%
男性	159	39.6%	29.6%	22.0%	15.1%	11.3%	5.0%
女性	130	60.8%	23.8%	3.8%	3.8%	6.9%	6.2%
20歳代	16	50.0%	12.5%	18.8%	31.3%	6.3%	6.3%
30歳代	29	44.8%	31.0%	17.2%	24.1%	13.8%	6.9%
40歳代	46	58.7%	26.1%	10.9%	13.0%	6.5%	0.0%
50歳代	68	41.2%	30.9%	11.8%	5.9%	11.8%	7.4%
60歳代	44	56.8%	20.5%	11.4%	6.8%	11.4%	4.5%
70歳代	56	44.6%	33.9%	14.3%	7.1%	8.9%	3.6%
80歳代以上	33	54.5%	21.2%	21.2%	0.0%	3.0%	12.1%
土岐津町	48	66.7%	25.0%	14.6%	2.1%	4.2%	0.0%
下石町	39	48.7%	30.8%	12.8%	5.1%	10.3%	5.1%
妻木町	28	46.4%	39.3%	14.3%	10.7%	17.9%	0.0%
鶴里町	7	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
曾木町	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駄知町	28	32.1%	25.0%	25.0%	10.7%	14.3%	14.3%
肥田町	34	50.0%	20.6%	14.7%	14.7%	8.8%	2.9%
泉町	105	45.7%	25.7%	11.4%	14.3%	7.6%	8.6%

3 市のスポーツ施設の状況

建築から年数が経過し、施設に老朽化が見られる。

市内には、公共スポーツ施設が15か所(都市公園内施設含む)あります。建築年が昭和30(1960)年代から平成10(2000)年代で、土岐市公共施設総合管理計画に基づき管理を行っていますが、施設に老朽化が見られます。

市のスポーツ施設の状況

No.	施設名称	対応スポーツ	代表建築年度	延べ床面積(m ²)
1	駄知体育館	体操等・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・テニス・卓球・ソフトバレー・インディアカ・筋力トレーニング	平成 14 (2002)	1,356
2	土岐津体育館	体操等・バドミントン・ソフトバレー・インディアカ・卓球・剣道など	昭和 38 (1963)	944
3	武道館	柔道	昭和 31 (1957)	241
4	弓道場	弓道	平成 31 (2019)	1,079
5	ウエイトリフティング練習場	ウエイトリフティング	平成 12 (2000)	165
6	総合活動センター	陸上競技場・多目的広場・軟式野球・テニス	平成 18 (2006)	48,900
7	総合射撃場	スキート射撃・トラップ射撃・ライフル射撃・空気銃射撃	昭和 44 (1969)	5,300
8	スポーツセンター	バレーボール・バドミントン・テニス・卓球・ソフトバレー・インディアカ、筋力トレーニング	昭和 56 (1981)	1,409
9	大徳原球場	軟式野球、グラウンドゴルフ	昭和 39 (1964)	12,619
10	曾木グラウンド	軟式野球など	昭和 55 (1980)	10,368
11	肥田グラウンド	軟式野球など	昭和 53 (1978)	9,467
12	駄知公園運動広場	軟式野球など	昭和 55 (1980)	17,000
13	アーチェリー場	アーチェリー	昭和 57 (1982)	4,000
14	敷島公園	野球・ソフトテニス	昭和 56 (1981)	15,447
15	総合公園	野球・多目的広場・テニス・ゲートボール	平成 6 (1994)	56,470

市内公共施設位置図



利用回数は増加傾向。中学校部活動の地域展開が進展すると、さらなる利用の増加が見込まれる。

市内の小中学校13校の体育館で学校施設開放事業※1を実施しています。

令和6年度末時点で111団体が活動しており、地域スポーツの場として重要な役割を担っています。中学校部活動の地域展開の推進から、利用回数が増加しています。今後も利用回数が増加する場合には、地域のスポーツ団体の利用を妨げないよう利用状況(利用率)と利用希望が集中する時間帯等を把握し、状況に応じて対応を検討する必要があります。

学校施設開放事業利用状況

	施設数(施設)	利用回数(回)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
小中学校	13	6,194	6,166	6,714

各学校施設の利用状況

(%)

	No.	学校	コマ数	利用コマ数	利用率	
体育館	1	土岐津小学校	22	17	77.3	
	2	下石小学校	22	10	45.5	
	3	妻木小学校	22	16	72.7	
	4	駄知小学校	22	16	72.7	
	5	肥田小学校	22	7	31.8	
	6	泉小学校	22	17	77.3	
	7	泉西小学校	22	20	90.9	
			平均利用率	154	103	66.9
	8	土岐津中学校	22	19	86.4	
	9	西陵中学校	22	16	72.7	
	10	濃南中学校	22	16	72.7	
	11	駄知中学校	22	20	90.9	
	12	肥田中学校	22	20	90.9	
13	泉中学校	22	17	77.3		
		平均利用率	132	108	81.8	
武道場	1	西陵中学校	11	7	63.6	
	2	濃南中学校	11	3	27.3	
	3	駄知中学校	11	1	9.1	
	4	肥田中学校	11	4	36.4	
	5	泉中中学校	11	2	18.2	
		平均利用率	55	17	30.9	

※1 学校施設開放事業 市内の小中学校の体育施設(体育館・武道場)を学校教育に支障のない範囲で児童生徒その他市民の方が利用できる取組。

これまで整理した現況や調査結果から、土岐市のスポーツにおける課題と、課題を克服するための取組を以下のように整理しました。

課題

1

スポーツ実施率が全国平均より下回っている

- ・ **スポーツ実施率が46.2%**と全国平均の52.5%を下回っています。
- ・ 30歳代から50歳代で、「**時間がない(仕事や家事・育児)**」ことがスポーツをしない**最大の理由**になっています。
- ・ スポーツ未実施者の**53.4%**が「**始めたい**」と意欲を持っているものの、実行できていません。

課題

2

こどもの体力・運動能力が低下している

- ・ 市内小中学校の新体力テストの全国比較では、ほぼすべての学年で**体力・運動能力が全国平均を下回っています**。
- ・ 市内**小学校の体力水準の低下**が顕著です。



市民がスポーツをすることに重点を置き、スポーツ実施率の向上を図る取組が必要です。

必要な取組

- 生涯にわたってスポーツを実施する習慣をつくるため、生活習慣の基礎となる**こどもの年代からスポーツに親しむ習慣**をつくる必要があります。
- スポーツ実施率を上げるには、**ライフスタイル別に対応**が必要です。
- 様々なスポーツに触れるなど、スポーツを実施しない人が**始めるきっかけ**をつくる必要があります。

課題

3

スポーツ団体、指導者の高齢化・固定化が進んでおり、今後のスポーツを支える体制の持続性に不安がある

- ・ 地域スポーツ団体では、半数以上の団体が指導者や競技者、会員の**高齢化・固定化**を課題としています。
- ・ 構成員の固定化から**継続的な活動への不安**があります。
- ・ **指導者や運営者などの担い手が不足**しています。

課題

4

スポーツに関する情報の発信が不足している

- ・ スポーツ施策の満足度について、ほぼすべての項目で「**わからない**」が **60%**を超えています。
- ・ スポーツ施策が重要と回答する市民が半数以上あるのに対し、**施策が十分に周知されていません**。
- ・ こどものスポーツ推進については保護者向けの**情報提供を望む声**が多くあります。



スポーツ実施を支える場、人材・体制を含めたスポーツ環境の充実が重要

必要な取組

- 市民ニーズに合ったスポーツを実施できる場の**充実が必要**です。また、市民ニーズに沿った**公共スポーツ施設の利便性の向上と老朽化への対応**について検討が必要です。
- スポーツの実施を支える関連団体や地域団体が今後も継続して安定した活動ができるよう、**新たな人材の確保や育成など、今後の担い手の充実**が必要です。
- 学校外でのこどものスポーツ実施率の向上や、進学の日目にも継続しやすいスポーツの場を充実するため、**学校部活動の地域展開を一層促進**することが必要です。

また、課題を克服するための取組に加えて、国や県の計画や近年の動向、市民の皆さんの意見を踏まえ、取り入れるべき視点・方向性についても以下のように整理しました。

取り入れるべき視点・方向性

国および県の計画や動き、市民の意見

- ・ 国や県の方向性や計画では、スポーツによる地方創生・まちづくりが示されています。
- ・ 市民アンケート調査の結果においても、スポーツの効果として市内の交流の活性化や、まちのにぎわいにつながるといった意見が挙げられています。

国や県の計画

国	スポーツ基本計画において、特色ある「スポーツ・健康まちづくり」の創出を全国で加速化させる。
県	スポーツ推進計画において、地域の魅力向上、観光振興及び地域経済の活性化に資するまちづくりを推進する。

▶ スポーツの力を活用した市民交流・市民の活力(げんき)の創出が重要

必要な取組

- スポーツを活用した地域イベントなどを通じ、地域の中での交流を活性化させ、まちの賑わいや地域経済の発展につなげていくことが重要です。
- 多様なスポーツを活用し、新たな交流が生まれる機会を創出することが重要です。
- 土岐市の活力(げんき)を生み出すためには、市民、団体、事業者、市が連携しスポーツを活用した取組を一体となって実施することが効果的です。

3. 基本理念・基本目標

01 基本理念

02 計画の基本目標

03 期待される取組主体の役割

土岐市の現況や課題を踏まえ、スポーツを推進していくにあたっての以下のような基本理念を定めました。

誰もがいつまでもいきいきと スポーツを楽しみげんきを生み出すまち

この基本理念に定めるように、土岐市は、こどもの時から高齢者になっても、すべての市民がスポーツを楽しみながら元気で活力にあふれる毎日を過ごすことを目指します。

土岐市では、これまで「いつまでも元気で楽しく過ごし、健康寿命を延ばそう！！」をテーマに「全世代健康寿命延伸事業・ときげんきプロジェクト」を実施してきました。定期的な運動＝スポーツの実施が市民の健康の増進に大変有効であることから、プロジェクトの中の柱の1つに、「運動習慣づくり」を定めています。そのため、本計画で定める土岐市のスポーツ推進の方向性においても、「ときげんきプロジェクト」を施策の軸として、重点的に推進します。

加えて、本計画では、年齢や性別、国籍、障がいの有無にかかわらず、市民が身体的・精神的・社会的に良い状態(ウェルビーイング)であるよう、スポーツを活用した取組を推進します。

それぞれの嗜好や状況に合わせて気軽にスポーツを実施し、習慣的に身体を動かすことは、身体や精神の健康に良い影響を与えます。また、身近にスポーツしやすい環境があることは、スポーツの習慣化、スポーツ人口の増加につながります。さらに、スポーツは、複数の人が集まって実施することで、それまで接点の少なかった市民同士の新たな交流を生み出す可能性を持っています。

こうしたスポーツの力を市民・スポーツ関係団体や企業などとも協働し、一人ひとりが生涯スポーツを楽しみながら、元気で活力に満ちた毎日を過ごすことにつなげます。そして、市民の元気や活力が市全体へも広がることで、げんき(活気)を生み出すまちへとつながっていくことを目指します。

基本理念に基づき、本計画では、以下の基本目標を掲げ、施策を展開します。

**基本
目標****1 全ての市民がスポーツを
楽しむ習慣づくり**

- 市民一人ひとりがスポーツの価値や楽しさを実感し、スポーツ実施の習慣化を図ります。特に、生活習慣の基礎がつくられることからのスポーツの習慣化を重視し、学校や地域での取組を通じて、将来にわたって健康的な生活を送れる基盤を育みます。
- 市民それぞれのライフスタイルに合わせて気軽にスポーツに取り組める機会を設け、日常的にスポーツを楽しむ人を増やしていきます。
- スポーツ観戦も含め様々なスポーツに触れるきっかけを創出し、スポーツを始める人の増加を図るとともに、パラスポーツなどすべての人がスポーツを楽しむ機会も充実します。

**基本
目標****2 誰もが気軽にスポーツに
親しめる環境づくり**

- 市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、日常の中で運動を続けられるよう、市民ニーズに合ったスポーツを実施できる場の充実を図ります。
- 公共スポーツ施設の利便性向上や老朽化への対応について検討し、継続して利用しやすい環境を整えていきます。
- スポーツの実施を支える関連団体や地域団体が、地域の中で継続的に活動を続け、市民のスポーツ習慣の定着につなげられるよう、新たな人材の確保や育成を進めていきます。
- 学校外でのこどものスポーツ実施率を高め、進学などの節目でも継続しやすいスポーツ環境を整えるため、学校部活動の地域展開の拡充を図ります。



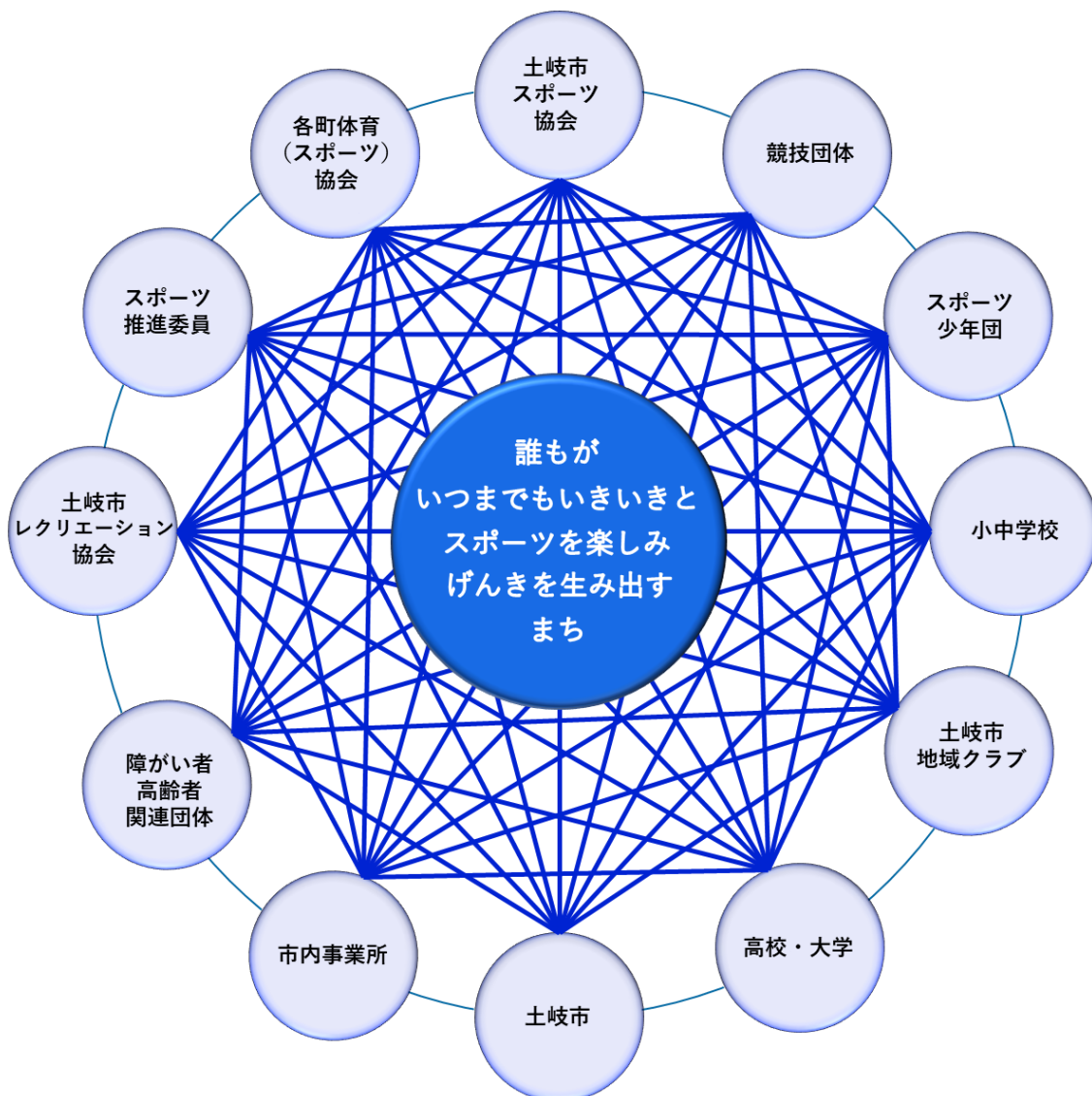
スポーツを 活かしたまちづくり

- 地域内でスポーツを活用した住民同士の交流の機会を充実し、希薄化する地域コミュニティの活性化を図ります。
- 多様なスポーツを市民と一緒に観たり、実施する機会を充実し、市民の新たな交流の創出を図ります。
- スポーツを地域資源として活用し土岐市の魅力を向上させ、長期的には地域経済の活性化へとつなげていきます。
- 民間事業者等と連携し、スポーツを活用した市内外の交流を増やす取組を共創します。多くの市民がスポーツに関わり、交流することで、土岐市の「げんき」を創出します。

基本理念・基本目標に沿ってスポーツ施策を効果的に推進していくためには、市だけでなく、スポーツ関連団体や市内の事業者など多様な取組主体が連携し、それぞれの役割を担うことが不可欠です。スポーツは市民が主体的に取り組むもので、市や関係機関は、その活動を支え、つなぐ役割を担います。

取組主体	役割
土岐市スポーツ協会	市内のスポーツ振興の中心的組織として、競技団体や地域クラブの活動を支援し、情報共有やイベントの企画・運営、指導者の育成・確保などを担います。
競技団体	各競技の普及・発展を図り、市民のスポーツ実施の機会を充実するとともに、指導者の育成や大会運営を通じて競技力向上への取組が期待されます。
各町体育(スポーツ)協会	各町のスポーツ振興の中心的組織として、イベントの企画・運営を行い、地域での身近なスポーツ機会の創出を担います。
土岐市スポーツ少年団	子どもたちの健全な育成を目的に、スポーツの楽しさを伝え、こどものスポーツ実施の機会を充実し、スポーツを通じた体力の向上や精神の育成、仲間づくりを促進します。
スポーツ推進委員	誰でも楽しめるスポーツ教室や気軽に参加できるウォーキングイベントなど、スポーツ実施のきっかけづくりをはじめとした市のスポーツ活動の推進役として、各種スポーツ教室やスポーツイベントの企画・運営を行います。
土岐市レクリエーション協会	レクリエーション活動の普及・振興を通じて、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりが期待されます。
小中学校	体育の授業や放課後の時間を通じて身体を動かす楽しさを伝えながらスポーツの基礎を育み、こどもの体力の向上と心身の育成を図ります。また学校施設の開放などによる開かれたスポーツ環境づくりに協力し、地域のスポーツ実施の場として中心的な役割を担います。
土岐市地域クラブ	中学校部活動の地域展開の受け皿として学校外でのスポーツ実施の機会を提供します。様々なスポーツの体験、実施を通じてこどもの心身の育成に貢献します。
高校・大学	スポーツに関する専門的知見を活かし、スポーツ指導者の育成支援や地域スポーツの研究・振興支援が期待されます。また、本計画の事業評価においても市外部からの客観的視点、専門的視点から助言なども期待されます。

取組主体	役割
市内事業所	従業員の健康づくりやスポーツ実施の啓発、促進などを行うとともに、地域貢献の一環として、市のスポーツ活動への参加や支援により、働く世代のスポーツ実施のきっかけづくりに市との協働が期待されます。
障がい者・高齢者 関連団体	障がい者スポーツの普及・振興やフレイル予防を含めた高齢者のスポーツの実施を支援し、誰もがスポーツを楽しめる機会の充実への取組が期待されます。
土岐市	国や県の方針を踏まえ、土岐市が実施するスポーツ推進施策の全体の方向性を示し、関連部署や関係団体と連携しながら施策を推進します。



4. 施策体系

01 施策体系

基本理念

誰もがいつまでもいきいきとスポーツを楽しみ げんきを生み出すまち

基本目標

推進施策

基本目標 1

すべての市民が
スポーツを楽しむ
習慣づくり



1

こどものスポーツ習慣づくり

2

ライフスタイルに応じたスポーツ
の推進

3

様々なニーズに対応したスポーツ
のきっかけづくりの推進

1

スポーツに親しみやすくなる「場」
の充実・情報発信の充実

2

スポーツを支える団体や人材の
確保・育成・競技力の向上

3

学校部活動の地域展開の促進

1

スポーツに関する地域イベントの
充実

2

スポーツを通じた市民の新たな
交流の創出

3

民間事業者等との共創による
スポーツの推進

基本目標 2

誰もが気軽に
スポーツに親しめる
環境づくり

基本目標 3

スポーツを
活かした
まちづくり

5. 推進施策

基本目標1 すべての市民がスポーツを楽しむ習慣づくり

基本目標2 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり

基本目標3 スポーツを活かしたまちづくり

基本目標 1

すべての市民がスポーツを楽しむ習慣づくり

推進施策 1 こどものスポーツ習慣づくり

就学前の心身の育成

- こどもの健全な発達を促すため、こども園・幼稚園と連携し、外遊びなどを通じて、楽しみながら運動に親しめる機会をつくります。
- 保護者への啓発を行い、幼児期から運動に親しむことで、家庭や地域でのスポーツ習慣の基礎をつくります。

主な事業

- 新規** ○こども園・幼稚園と連携した体力づくりの充実
- 外遊び習慣づくり
- 新規** ○乳幼児健診を活用した啓発

運動好きなこどもの育成

- 走る・投げる・跳ぶなどの基本動作を身につけるため、専門家による運動講座や苦手克服教室を実施し、運動への自信と興味を育みます。
- 全国大会に出場したこどもを定期的にSNSで紹介するなど、こどもの意欲向上につなげます。

主な事業

- 専門家による運動講座
- こどもの体の使い方講座（苦手克服教室）
- 新規** ○スポーツキッズ紹介事業

学校と連携したスポーツ推進

- 小学校の体育の授業ではアクティブチャイルドプログラム(ACP)を活用し、授業の中で楽しく身体を動かせる機会を継続して創出します。
- 体力テストの結果を活用し、学校での指導を改善することで、こどもの体力向上を図ります。
- 放課後教室の活用により、学校内外での運動機会を広げます。学校と地域が一体となり、こどもが自然に身体を動かす環境を整え、日常生活にスポーツを取り入れる習慣を形成します。

主な事業

- アクティブチャイルドプログラムの活用
- 学校における体力づくりの充実
- 新規** ○放課後教室の活用

多様な運動経験を通じた健やかな身体の育成

- 成長期には、一つの種目に偏らず、走る・跳ぶ・投げるなど、さまざまな動きを経験することが大切です。多様な運動にふれることで、全身の力がバランスよく伸び、けがをしにくい身体づくりにもつながります。
- 多様な運動の機会を広げるため、マルチスポーツ※1（複数の種目を組み合わせて体験できる取組など）を推進し、こどもが楽しみながら運動能力を育める環境を整えます。

主な事業

- 新規 ○マルチスポーツの推進

推進施策 2 ライフスタイルに応じたスポーツの推進

子育てとスポーツの両立の促進

- 子育て中の方は、自分のための時間を確保しにくい傾向があるため、親子で参加できるスポーツイベントや教室を継続的に開催し、こどもとふれあいながら大人(保護者)も体を動かせる機会をつくります。

主な事業

- 親子参加スポーツイベントの実施
- 親子スポーツ教室の実施

仕事とスポーツの両立の促進

- 市内事業所と連携し、職場での運動習慣づくりを進めます。
- 職場で仕事の合間に体を動かす短時間のトレーニングの啓発を行い、日常的なスポーツの定着を促進します。また、市が開催するスポーツイベントに事業所単位の参加を促進します。
- 従業員の健康を推進する「健康経営®※2」の周知など、事業所向けの健康づくりを啓発、推進します。
- 新たにスポーツを始めたい人や一度スポーツから離れた方も参加しやすいようスポーツ体験会を開催し、自分に合ったスポーツを見つけられる機会をつくります。

主な事業

- 新規 ○職場でできる習慣的なトレーニングの啓発
- 新規 ○市内事業者へのスポーツイベント参加の啓発
- 新規 ○事業所向け健康づくり事業の啓発・推進
- 新規 ○大人のはじめてのスポーツ体験会

※1 マルチスポーツ 特にこどもの時に他競技のスポーツに取り組むことで運動能力の幅を広げ、心身の発達や長期的な競技力向上につなげる取組。

※2 健康経営® 事業者が従業員などの健康管理を組織の活性化、生産性や業績の向上、企業価値の向上などといった経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

高齢者の健康を支えるスポーツの促進

○いくつになっても元気ではつらつとした毎日をごせるよう、高齢者が年齢や体力に応じて、無理なく楽しく身体を動かすことができる機会を充実し、認知症やフレイルの予防につなげていきます。

主な事業

- 認知症予防の推進
- フレイル予防の推進

推進施策 3 様々なニーズに対応したスポーツのきっかけづくりの推進

身近で気軽に様々なスポーツにふれる機会の創出

- スポーツを習慣づけるためには、運動への苦手意識や仲間がいない、何をすればよいかわからない、続けにくいといった壁を取り除くことが重要です。
- 身近で取り組みやすいウォーキングイベントの充実や「ときげんき体操」、「ときげんきサーキット」の周知を進めます。
- スポーツ体験会に加えて、ダンスイベント、アーバンスポーツ※¹など多様な種目に触れられる機会を広げるとともに、参加者同士がつながりやすい仕掛けを取り入れ、仲間づくりにもつなげます。
- トップアスリートと触れ合える場を設け、興味や意欲を高めます。
- スポーツ団体やクラブの活動に対し、習慣化のもとになる体験教室等の実施の際には、公共施設の優先利用など活動場所の確保を支援します。
- 岐阜県健康・スポーツポイント事業の活用を促進し、スポーツを楽しみながら継続化できるよう後押しします。

主な事業

- ウォーキングイベントの充実
- 「ときげんき体操」「ときげんきサーキット」の普及
- 誰もが参加できるスポーツ体験会の実施
- 新規** ○アーバンスポーツ、eスポーツ、パラスポーツの活用
- ダンスイベントの実施
- トップアスリートと触れ合う機会の創出
- 新規** ○スポーツ教室実施団体への支援
- 岐阜県健康・スポーツポイント事業の活用推進

※1 アーバンスポーツ BMX、スケートボードなど、音楽、ファッションなど若者文化・遊びと結びついたエクストリームスポーツの中で都市での開催が可能なもの。

障がい者のスポーツの促進

- 障がいの有無にかかわらず、一緒に障がい者スポーツを実施する体験会を行うなど、種目への理解を深めるとともにスポーツを楽しむきっかけを創出します。
- 障がいのある人がより積極的にスポーツを実施しやすい環境を整えるため、移動支援や送迎サービスを通じて大会参加を支援します。

主な事業

○スポーツ活動への参加支援

新規

○パラスポーツ体験会の実施

推進施策 1 スポーツに親しみやすくなる「場」の充実・情報発信の充実

公共スポーツ施設等の使いやすさの向上

- スポーツを続けていくためには、「行きやすい」「使いやすい」と感じられる環境が大切です。市民が日常の中でスポーツを習慣にしやすいよう、公共スポーツ施設の利便性を高めます。
- 子育てや仕事で時間が限られる人でも利用しやすいよう、予約方法や利用方法・利用条件などを見直し、気軽に使える環境を整えます。
- 老朽化した公共施設について、市民ニーズも踏まえ、改修を行うとともに、複合化や広域化など様々な可能性を検討します。
- 子どもや高齢者、障がいのある人など、誰もが利用しやすい施設への整備・改修についても検討を進めます。
- ニュースポーツ※¹用具の貸出などを行い、新しいスポーツに触れる機会を広げます。

主な事業

- 公共スポーツ施設受付の窓口サービスの充実
- 公共スポーツ施設の利用環境の充実
- 公共スポーツ施設の計画的な整備・改修
- ニュースポーツ用具等の貸出

身近でスポーツをする「場」の提供

- 市民が日常の中で無理なくスポーツを続けられるよう、身近で運動できる「場」を広げます。
- 子どもから高齢者まで取り組みやすいウォーキングについて、案内看板を整備するなど市内のウォーキングコースを充実します。
- 各地区にある小学校や中学校の体育館などを活用した学校施設開放を継続し、地域のなかで気軽に運動を始められる場を確保します。
- 東京オリンピック以降、注目の集まるアーバンスポーツなどの新たなスポーツができる場の確保を検討します。

主な事業

- ウォーキングコースの充実
- 学校施設開放事業の充実
- スポーツ指導員の出張教室の実施
- 新規** ○アーバンスポーツなどの新たなスポーツをする「場」の検討

※1 ニュースポーツ ポッチャやグラウンドゴルフなど、新しく考案されたり、伝統的に行われてきたスポーツを誰もが楽しめるために改良した軽スポーツ。

情報発信の充実

- 市内のスポーツ大会の結果や競技団体の活動、県大会の情報などを広報やホームページで発信し、スポーツ団体への入団や参加を促します。
- SNSを活用して、団体自らが情報を発信できる力を高めていきます。
- 民間施設も含め市内のスポーツ施設をまとめた「スポーツ施設MAP」や「ウォーキングコースMAP」を作成し、ホームページやSNSなどを通じて広く周知し、施設やコースの利用促進を図ります。
- 高齢者や障がいのある人など、誰もが利用しやすくなるような施設の環境情報を発信します。

主な事業

- 種目競技の情報発信の充実
- スポーツ団体の情報発信の充実
- スポーツ施設等の情報発信
- SNS等を活用した情報発信の充実
- 新規** ○ウォーキングコース MAP の作成

推進施策 2 スポーツを支える団体や人材の確保・育成・競技力の向上

スポーツを支える人材の確保・育成

- スポーツ団体の指導者の高齢化や減少が進む中で、次世代の指導者を確保・育成するため、若い世代を対象としたスポーツ指導者の講習会や研修を定期的で開催するなど指導者育成を充実させます。
- 大学や高校などと連携し若い世代の視点を取り入れて、学生や生徒と一緒にスポーツイベントを実施するなど、スポーツを支える人材の確保・育成を推進します。

主な事業

- 新規** ○指導者講習会の開催
- スポーツリーダーの育成
- スポーツ推進委員の人材確保・資質向上
- 新規** ○大学等と連携したスポーツを支える人材づくり

スポーツ協会等の活動支援

- スポーツ協会等と連携し、競技力の向上を目指して県大会や全国大会への出場を支援するとともに、スポーツ少年団の活動を支援します。
- 活躍した選手へのスポーツ顕彰を継続し、市民のスポーツへの関心を維持します。
- 競技団体に対し、大会開催や教室を開催するための補助など、活動を支援します。

主な事業

- スポーツ協会等の活動支援と連携強化
- 競技団体の大会等の開催支援
- 競技団体等の教室実施の支援

推進施策 3 学校部活動の地域展開の促進

地域クラブの支援と連携強化

- 学校外でのスポーツ実施の機会の充実と、こどもの進学の節目でのスポーツ離れを防ぎ、運動好きなこどもの育成をするため、学校部活動の地域展開を進めます。
- 市内の競技団体に対し、土岐市地域クラブ「Nice Na Toki」への加盟促進を行うとともに、加盟団体の活動支援を行います。
- 代表者会や指導者会を通じてガイドライン遵守と指導力向上を図るなど質の維持・向上に努め、こどもの身体の健やかな育成を図るとともに、居場所づくりを支援します。

主な事業

- 部活動地域展開事業
- 土岐市地域クラブ加盟団体の学校へのアウトリーチ※¹推進事業
- 土岐市地域クラブの学校へのPR事業
- 土岐市地域クラブ加盟促進事業

基本目標 3

スポーツを活かしたまちづくり

推進施策 1 スポーツに関する地域イベントの充実

スポーツを通じた地域活動の推進

- スポーツを活用して希薄化しつつある地域コミュニティが活性化するように、住民が気軽に参加できるスポーツイベントや盆踊りなどの地域行事を市広報やSNSで周知し、参加を促します。
- 高齢者の健康維持に向けたフレイル予防活動を地域で展開し、地域内の交流を深めます。

地域で楽しむスポーツの推進

- 従来のスポーツに加え、観光などの異分野と掛け合わせた新しいスタイルのイベントを開催し、市民や来訪者など立場や世代を越えて楽しめる機会を創出します。
- 公民館と連携してスポーツ事業の充実を図り、地域と一体となって推進できる取組を検討します。
- 各地区の活動を通じて、これまで交流の少なかった地域住民同士や市内外の人々の新たなつながりを育める環境づくりを進めていきます。

主な事業

- 各町の体育協会と連携した地域スポーツの振興
- まちづくり活動支援事業
- 介護予防普及事業

主な事業

- 新規** ○地域の魅力とスポーツを掛け合わせたイベント開催
- 公民館スポーツ事業との連携

推進施策 2 スポーツを通じた市民の新たな交流の創出

市民みんなで楽しむスポーツイベントの開催

- 市民が一体となって楽しめるスポーツイベントは、絆を強める効果的な機会です。これまで実施してきた「市民スポーツ大会」や「ノルディックウォーキング」など、誰もが参加できるイベントを継続します。
- 市に関連のあるスポーツイベント・試合などのパブリックビューイング※1等を実施し、市民の交流を促進します。

主な事業

- 市民スポーツ大会・イベントの実施（市民スポーツ大会、ロードレース大会、土岐リレーマラソン、ノルディックウォーキングなど）
- パブリックビューイングの開催

推進施策 3 民間事業者等との共創によるスポーツの推進

スポーツを通じた他地域との交流の推進

- スポーツ姉妹都市である焼津市との交流大会を継続し、両市のつながりを強化します。また、競技力の向上だけでなく、両市の間での文化交流や地域の魅力発信にもつなげます。
- 多治見市や瑞浪市などの近隣市町ともスポーツを介した交流を図ります。

主な事業

- スポーツ交流事業

民間事業者等と連携したスポーツの推進

- 連携協定事業者とアイデアを出し合いながら、健康増進や、市民が楽しめるイベントなどを定期的に開催します。
- 団体や民間事業者、大学などと連携し、ワークショップを開催するなど、今後のスポーツを活かしたまちづくりの核となる人材・団体の発掘や育成を推進します。将来的には事業者等を核としたスポーツコミッション※2などの設立を検討します。

主な事業

- | | |
|----|-------------------------------|
| 新規 | ○地元企業との協働による健康増進 |
| 新規 | ○連携協定事業者との協働によるスポーツを活用した取組の研究 |
| 新規 | ○民間事業者等との連携事業・ワークショップなどの開催 |

※1 パブリックビューイング スポーツの試合の映像などを、大勢の人と一緒に鑑賞・観戦する体験会。

※2 スポーツコミッション スポーツと他の地域資源を掛け合わせて活用し、まちづくりや地域活性化につなげる取組を推進する、地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体となった組織。

6. 目標指標

01 目標指標

本計画を推進して行く上で計画全体の施策の効果や進捗を測る総合的な指標として、目標指標を4つ設定しました。

目標指標 1 週1回以上運動・スポーツを実施する成人の割合



こどもの時から高齢者になっても、すべての市民がスポーツを楽しみ、元気で活力にあふれるよう「週1回以上(定期的に)運動・スポーツを実施する成人の割合」を目標指標1として設定します。

目標指標 2

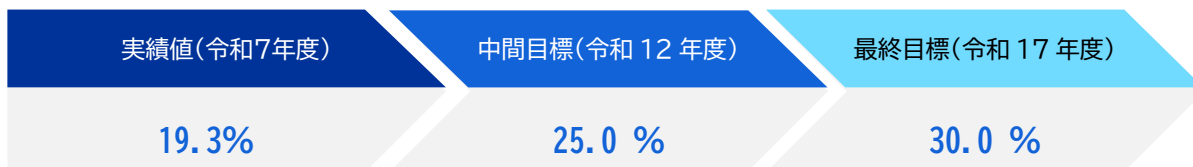
中学卒業後も、自主的にスポーツをする時間を 持ちたいと思う中学2年生の割合



こどもの体力・運動能力の向上を目指すとともに、こどもの年代からの自主的なスポーツ習慣が、生涯を通じたスポーツ習慣の形成につながることから、市民のスポーツ実施率の向上に寄与するものと捉え、目標指標2として設定します。

目標指標 3**学校施設開放事業利用回数**

各地域にあり、市民にも親しみのある学校の体育館の利用を促進することでスポーツに親しむ環境の充実を図ることから、学校施設開放事業利用回数を目標指標3として設定します。

目標指標 4**土岐市のスポーツ施策に対する市民満足度**

土岐市のスポーツ施策についての認知度が低いことから、今後実施する情報発信の効果を測定するとともに、計画を推進していくにあたって、施策に対する市民の満足度を総合的に把握するため、目標指標4として設定します。

※市民アンケート調査で「満足」「やや満足」を合算した割合

7. 計画の実現性の確保

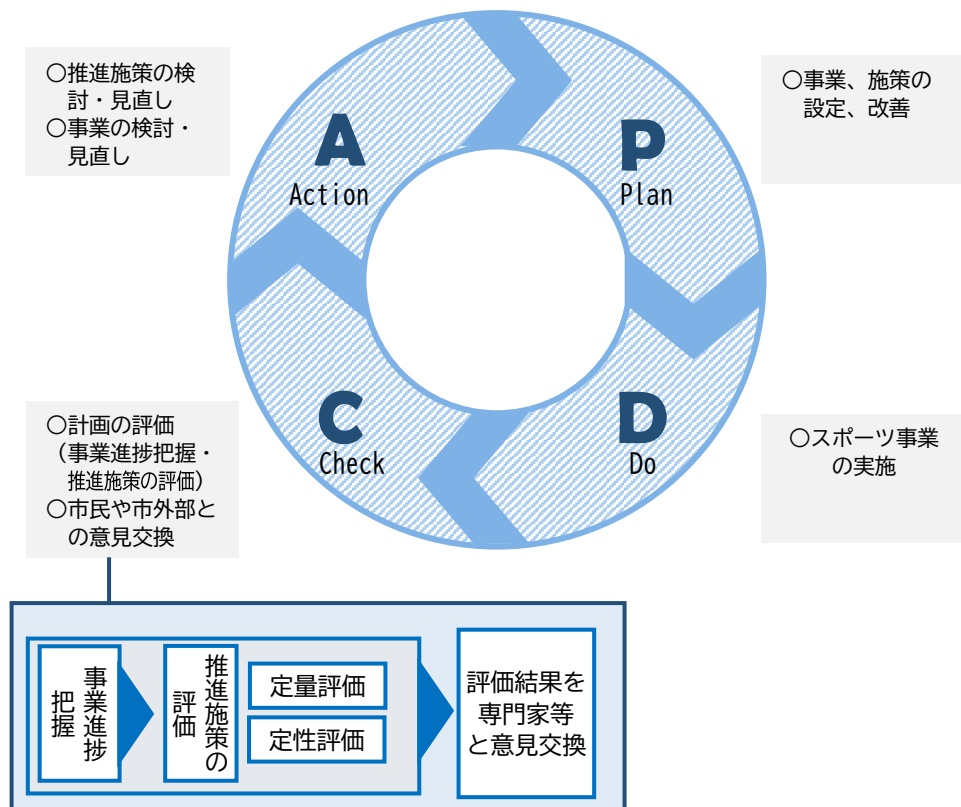
01 計画の推進体制

02 計画の進捗管理

本計画に掲げる取組は、国や県の動向やスポーツに関する最新の動向を踏まえながら、庁内関係部局と連携し、一体となって計画を進めていきます。また、土岐市スポーツ協会、競技団体、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、レクリエーション協会、学校、大学、市内事業所、障がい者・高齢者関連団体といった様々な主体との意見交換の場を設け連携・協働によって推進します。

本計画の推進に当たっては、年1回各事業の実施状況を把握・整理し、それを基に推進施策の評価を定量評価、定性評価をもって行います。評価結果から推進施策や事業内容の検討・見直しを行い、必要に応じて改善を行います。

このようにPDCAサイクルを通じて計画の継続的な見直しと改善を行います。



8. 参考資料

01 計画策定経過

02 計画策定体制

03 アンケート調査結果概要

01 計画策定経過

本計画は以下のような経過で策定しました。

月日		実施内容
令和7年 8月5日	第1回 土岐市スポーツ推進計画 策定委員会	【協議事内容】 (1)土岐市スポーツ推進計画(案)の策定について (2)アンケート調査の実施について (3)計画策定スケジュールについて
令和7年 8月28日 ～9月10日	アンケート調査等の実施	【市民アンケート調査】 調査方法 18歳以上の土岐市在住の市民を無作為抽出し、郵送にて紙面の調査票を配布・回収。回答はオンラインを併用。 配布数 2,000票、回収数 609票、回収率 30.5%
令和7年 9月11日 ～年9月19日		【こどもへのアンケート調査】 調査方法 土岐市内の小学校5年生、中学校2年生に対し学校を通じてアンケート調査依頼の二次元コード付チラシを配布。回答はオンラインで回収。 配布数 922票、回収数 550票、回収率 59.7%
令和7年 9月11日 ～年9月19日		【事業者・団体へのアンケート調査】 調査方法 土岐市内のスポーツ関連団体、福祉団体、関連団体、事業者等へ郵送にて紙面の調査票を配布・回収。回答はオンラインを併用。 ① 市内スポーツ事業者 配布数 4社 回収数 3票 回収率75.0% ② 協会・連盟 配布数 41団体 回収数 27票 回収率65.9% ③ 競技団体 配布数 27団体 回収数 13票 回収率48.1% ④ 福祉団体(高齢者) 配布数 3団体 回収数 2票 回収率66.7% ⑤ 福祉団体(障がい者) 配布数 8団体 回収数 5票 回収率62.5%
令和7年 11月4日	第2回 土岐市スポーツ推進計画 策定委員会	【協議内容】 (1)土岐市のスポーツについての現状と課題 (2)第1期土岐市スポーツ推進計画骨子案
令和7年 12月26日	第3回 土岐市スポーツ推進計画 策定委員会	【協議内容】 (1)第1期土岐市スポーツ推進計画素案 ① 推進施策(施策の内容・主な事業) ② 計画の実現性の確保
令和8年 2月20日 ～3月6日	パブリックコメント	パブリックコメントの実施

02 計画策定体制

本計画は、土岐市スポーツ推進計画策定委員会において専門的見地や関係団体の意見を踏まえつつ協議を行い、策定しました。以下に、同委員会の委員名簿を掲載します。

【令和7年度土岐市スポーツ推進計画策定委員会 委員名簿】

(敬称略)

氏名		所属	区分
1	水尾 衣里	名城大学 人間学部人間学科 教授	学識経験者
2	川本 直義	(株)伊藤建築設計事務所 取締役	学識経験者
3	内藤 正和	愛知学院大学 健康科学部健康科学科 准教授	学識経験者
4	加藤 素英	土岐市スポーツ協会 理事長	社会体育団体
5	小栗 忠人	泉町スポーツ協会 会長	社会体育団体
6	西尾 咲子	土岐市スポーツ推進委員会 会長	社会体育団体
7	古田 幸久	土岐市老人クラブ連合会 代表	関係団体
8	籠橋 久己	岐阜県身体障害者福祉協会土岐市支部 代表	関係団体
9	清本 直子	駄知小学校 校長	教育関係者
10	伊藤 策雄	駄知幼稚園 園長	教育関係者

【事務局】

氏名	備考	
山路 知治	地域振興部長	事務局
西尾 和成	スポーツ振興課 課長	事務局
岡田 友和	スポーツ振興課 課長補佐	事務局
加藤 晃浩	スポーツ振興課 スポーツ振興係長	事務局
瀧瀨 博喜	スポーツ振興課 主査	事務局

03 アンケート結果概要

本計画策定にあたり、以下のアンケート調査を実施しました。

1. 市民アンケート調査

【調査概要】

1. 目的

本調査は、市民のスポーツ実施率の向上およびスポーツ人口の増加を目指す土岐市スポーツ推進計画の策定にあたって、市民のスポーツに関する実態と意向を多角的に把握することを目的として実施した。

2. 実施方法

- ・18歳以上の土岐市在住の市民を無作為抽出し、郵送にて紙面の調査票を配布・回収
- ・回答はオンラインでの回収を併用

3. 実施期間

令和7年8月28日～令和7年9月10日

4. 配布数

2,000票

5. 回収数、回収率

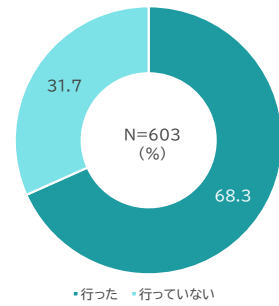
609票・30.5%

【調査結果】

(1)この1年間のスポーツ実施状況

○何らかのスポーツを実施した割合が多く、7割程度となっています。様々な種目を実施しています。

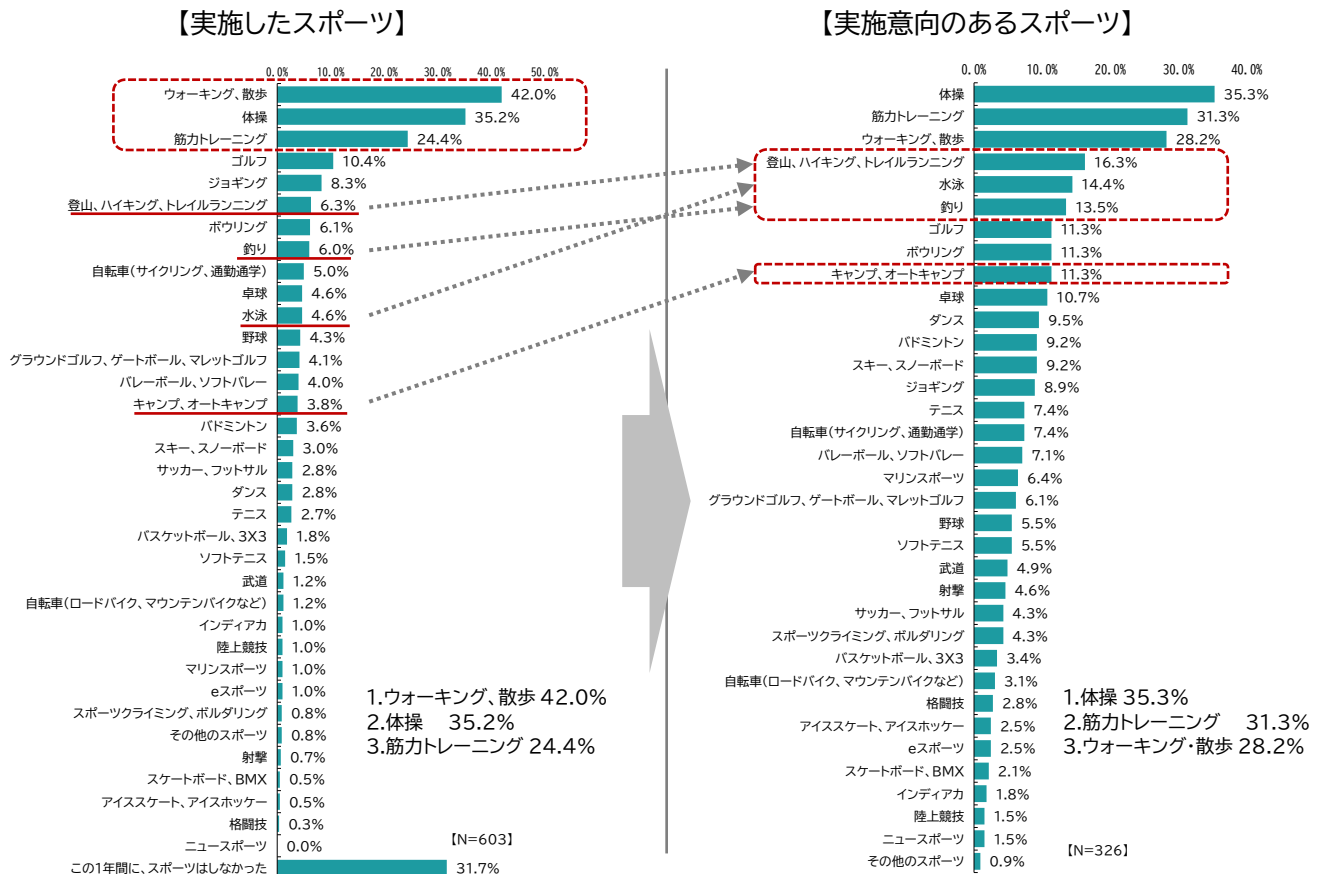
○「ウォーキング・散歩」や「体操」「筋力トレーニング」などが多くなっています。



(2)実施意向があるスポーツ

○今後やってみたい種目は、「体操」「筋力トレーニング」「ウォーキング・散歩」などが多くなっています。実施した種目と、実施したい種目の上位は似た傾向です。

○「登山、ハイキング、トレイルランニング」「水泳」「釣り」「キャンプ、オートキャンプ」などは、今後やってみたい種目として多くの回答者が選択しています。

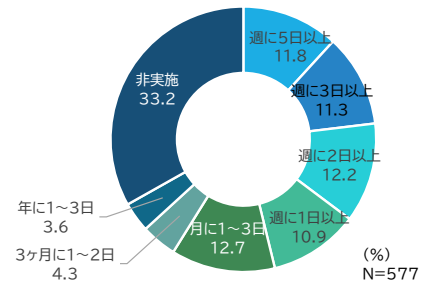


属性別	実施状況
〈男性〉 N=298	
	1.ウォーキング、散歩 43.0%
	2.筋力トレーニング 30.2%
	3.体操 29.5%
〈女性〉 N=297	
	1.ウォーキング、散歩 41.1%
	2.体操 40.7%
	3.筋力トレーニング 18.9%

属性別	希望状況
〈男性〉 N=160	
	1.筋力トレーニング 36.3%
	2.ウォーキング、散歩 25.6%
	3.体操 23.1%
〈女性〉 N=297	
	1.体操 47.2%
	2.ウォーキング、散歩 29.8%
	3.筋力トレーニング 26.1%

(3)市民の【定期的な】スポーツ実施率

○定期的なスポーツ実施を【週 1 回以上のスポーツ実施】とした時に、土岐市のスポーツ実施率は、46.2%で全国平均(R5、52.0%)と比較し、低い状況です。



(4)1 回あたりの時間と実施頻度

- 全体の傾向は比較的均等で、活動の頻度は人によってばらつきがあることがうかがえます。
- 1 回あたりの活動時間と、実施頻度を見ると、「15 分未満」や「15～30 分未満」の活動は、週 5 日以上や週 3 日以上の実施頻度が高く、「90 分以上」の活動は、低頻度で行われる傾向です。
- 短時間の運動は、継続したスポーツ習慣となっており、90 分以上の運動は、非日常的なスポーツの傾向があることがうかがえます。

	N	週に5日以上 (年251日以上)	週に3日以上 (年151～250日)	週に2日以上 (年101～150日)	週に1日以上 (年51～100日)	月に1～3日 (年12～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4～11日)	年に1～3日
全体	382	17.3%	17.0%	18.3%	16.5%	18.8%	6.5%	5.5%
15分未満	33	24.2%	27.3%	15.2%	12.1%	6.1%	3.0%	12.1%
15分～30分未満	69	24.6%	18.8%	11.6%	21.7%	14.5%	7.2%	1.4%
30分～60分未満	106	24.5%	16.0%	17.9%	14.2%	18.9%	3.8%	4.7%
60分～90分未満	81	8.6%	21.0%	25.9%	14.8%	16.0%	7.4%	6.2%
90分以上	93	8.6%	9.7%	18.3%	18.3%	29.0%	9.7%	6.5%

(5)スポーツ実施のきっかけ

- 「健康状態が気になって」が全体的に最も多くなっています。次いで「家族や友人の勧め」でスポーツを始めている割合が多くなっています。
- 地域別にみると、妻木町、曾木町でのイベントや体験会の活動が功を奏していることがうかがえます。
- 有名選手やチーム等の影響はすくないことがうかがえます。

	N	健康状態が気になって	家族や友人のすすめ	医師や専門家のすすめ	地域のイベントや体験会	学校や職場で誘われて	スポーツ施設が近くにできた	メディアやSNSの影響	有名選手やチームに憧れて	その他
全体	393	73.3%	26.2%	10.4%	8.9%	8.7%	3.3%	1.8%	1.0%	9.2%
男性	219	70.8%	26.9%	14.2%	7.3%	11.0%	2.7%	2.7%	1.4%	10.5%
女性	170	77.1%	25.9%	5.9%	11.2%	5.9%	4.1%	0.6%	0.6%	6.5%
20歳代	20	75.0%	20.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5.0%	10.0%
30歳代	34	70.6%	26.5%	0.0%	8.8%	20.6%	0.0%	14.7%	8.8%	11.8%
40歳代	53	71.7%	26.4%	5.7%	9.4%	3.8%	5.7%	0.0%	0.0%	11.3%
50歳代	78	75.6%	28.2%	9.0%	2.6%	7.7%	1.3%	1.3%	0.0%	10.3%
60歳代	78	71.8%	25.6%	12.8%	6.4%	11.5%	5.1%	0.0%	0.0%	7.7%
70歳代	79	74.7%	29.1%	15.2%	13.9%	5.1%	5.1%	0.0%	0.0%	8.9%
80歳代以上	51	72.5%	21.6%	17.6%	13.7%	3.9%	2.0%	2.0%	0.0%	5.9%
土岐津町	64	78.1%	28.1%	9.4%	10.9%	10.9%	4.7%	1.6%	0.0%	12.5%
下石町	52	65.4%	25.0%	11.5%	7.7%	9.6%	1.9%	1.9%	0.0%	11.5%
妻木町	43	69.8%	27.9%	4.7%	14.0%	7.0%	4.7%	0.0%	0.0%	11.6%
鶴里町	9	66.7%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
曾木町	2	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駄知町	32	59.4%	28.1%	15.6%	15.6%	9.4%	0.0%	0.0%	3.1%	9.4%
肥田町	45	73.3%	22.2%	8.9%	6.7%	4.4%	4.4%	6.7%	2.2%	8.9%
泉町	145	77.9%	26.2%	11.7%	6.2%	9.7%	2.8%	1.4%	1.4%	6.2%

(6)スポーツの実施場所

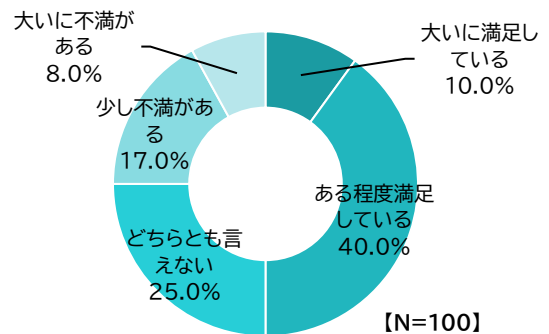
- 全体としては「自宅周辺」や「道路・遊歩道」での活動が多く、日常的に取り組みやすい環境が好まれていることがうかがえます。
- 若年層では「自宅周辺」や「道路・遊歩道」の利用が多く、高齢層では「自然環境」や「公共施設」の利用が目立ちます。
- 地域別では、妻木町や肥田町で「公共のスポーツ施設」の利用がやや高い傾向です。土岐津町や妻木町、肥田町では「民間のスポーツ施設」の活用が多くなっています。

	N	自宅 周辺 または その	道路 や 遊歩 道	公 共 の ス ポ ー ツ 施 設	民 間 の ス ポ ー ツ 施 設	広 場 や 公 園	(自然 環境 等)	外 部 の 公 共 施 設 (以 外)	館 学 校 ・ 校 庭 等	職 場	そ の 他
全体	395	44.8%	33.2%	22.8%	22.5%	15.4%	14.7%	10.1%	7.1%	4.8%	3.5%
男性	221	42.1%	34.8%	24.0%	23.5%	14.9%	17.6%	4.5%	7.7%	5.9%	3.6%
女性	169	47.9%	32.0%	21.3%	20.7%	16.0%	10.1%	17.2%	6.5%	3.6%	3.6%
20歳代	20	45.0%	35.0%	50.0%	10.0%	10.0%	5.0%	0.0%	15.0%	5.0%	5.0%
30歳代	35	60.0%	31.4%	37.1%	14.3%	28.6%	14.3%	8.6%	2.9%	5.7%	0.0%
40歳代	53	45.3%	45.3%	26.4%	28.3%	15.1%	11.3%	1.9%	11.3%	5.7%	1.9%
50歳代	78	32.1%	29.5%	24.4%	26.9%	12.8%	24.4%	9.0%	7.7%	6.4%	2.6%
60歳代	77	48.1%	26.0%	13.0%	19.5%	9.1%	11.7%	13.0%	7.8%	9.1%	2.6%
70歳代	80	43.8%	35.0%	18.8%	31.3%	15.0%	15.0%	16.3%	3.8%	1.3%	5.0%
80歳代以上	52	50.0%	34.6%	17.3%	11.5%	23.1%	11.5%	11.5%	5.8%	0.0%	7.7%
土岐津町	64	45.3%	34.4%	23.4%	29.7%	9.4%	12.5%	7.8%	12.5%	6.3%	3.1%
下石町	53	35.8%	26.4%	18.9%	18.9%	26.4%	18.9%	18.9%	5.7%	7.5%	5.7%
妻木町	43	41.9%	23.3%	37.2%	25.6%	16.3%	16.3%	7.0%	9.3%	0.0%	7.0%
鶴里町	8	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%
曾木町	2	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駄知町	35	48.6%	20.0%	20.0%	14.3%	11.4%	11.4%	14.3%	11.4%	2.9%	0.0%
肥田町	45	46.7%	28.9%	35.6%	26.7%	13.3%	11.1%	4.4%	2.2%	6.7%	4.4%
泉町	144	47.2%	41.0%	18.1%	21.5%	16.0%	14.6%	9.7%	5.6%	4.9%	1.4%

(7)スポーツ施設について(利用者に対する質問)

【満足度】

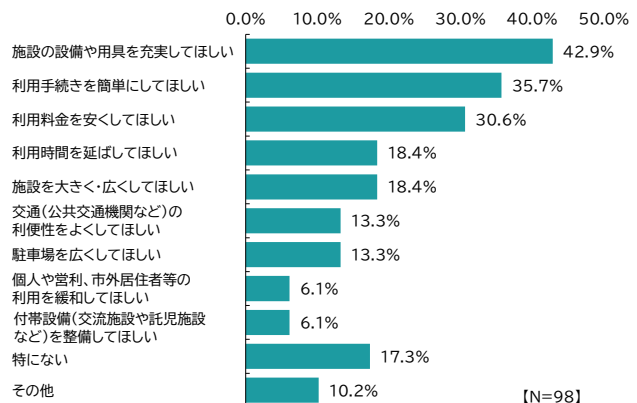
- 「満足している」が 50.0%（「大いに満足している」と「ある程度満足している」の合算）となっています。
- 「不満がある」が 25.0%（「少し不満がある」と「大いに不満がある」の合算）となっています。



(8)スポーツ施設について(利用者に対する質問)

【要望】

- 「設備や用具の充実」が最も多く、次いで「利用手続きの簡素化」、「料金の引き下げ」が続いています。利便性や経済的負担の軽減が重視されていることがうかがえます。
- 一方、「附帯設備の整備」や「利用制限の緩和」などは比較的少数にとどまり、基本的な使いやすさへのニーズが高い傾向が見られます。



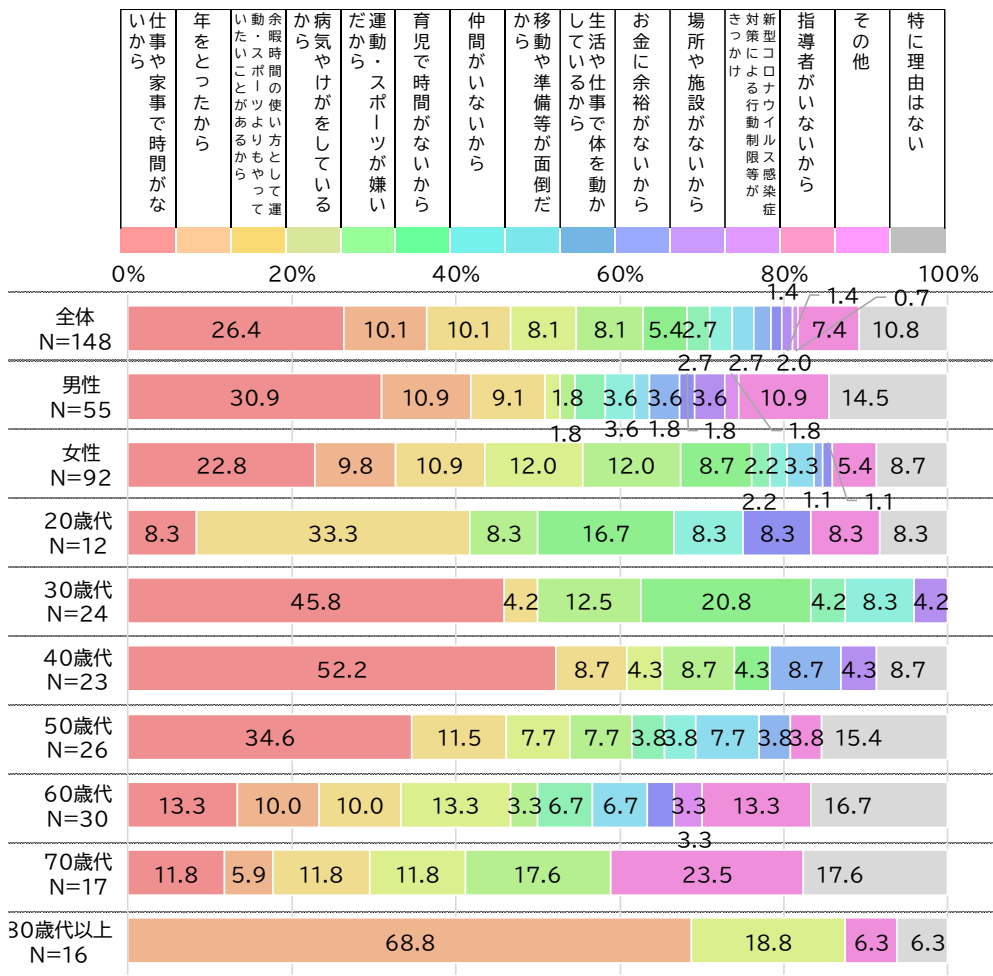
(9)スポーツイベントへの参加状況

- 全体としては、「スポーツイベント・行事に参加したことがない」人が約半数を占め、参加率の低さが目立ちます。
- 性別で見ると、男性は「地域のスポーツイベント・行事」への参加が多いほか、全体的にイベントへ参加しています。女性はイベント行事への参加率が高くなっており、「地域のスポーツイベント・行事」への参加が中心です。
- 年齢別にみると、50歳代が最も参加しており(不参加率が低い)、30歳代は複数のイベントに参加している割合が多くなっています。40歳代、60歳代は不参加率が高くなっています。
- 地域別では、駄知町が最も参加しています(不参加率が低い)。
(地区別は回答数が少ない地区もあるため参考値)

	N	スポーツイベント・行事に参加したことがない	町内会・自治会や行政などが主催する地域のスポーツイベント・行事	競技団体が主催する大会	職場(大学などを含む)で企画されたスポーツイベント・行事	民間の企業が企画したスポーツイベント・行事	その他
全体	292	49.3%	27.1%	14.0%	9.9%	9.2%	5.5%
男性	159	39.6%	29.6%	22.0%	15.1%	11.3%	5.0%
女性	130	60.8%	23.8%	3.8%	3.8%	6.9%	6.2%
20歳代	16	50.0%	12.5%	18.8%	31.3%	6.3%	6.3%
30歳代	29	44.8%	31.0%	17.2%	24.1%	13.8%	6.9%
40歳代	46	58.7%	26.1%	10.9%	13.0%	6.5%	0.0%
50歳代	68	41.2%	30.9%	11.8%	5.9%	11.8%	7.4%
60歳代	44	56.8%	20.5%	11.4%	6.8%	11.4%	4.5%
70歳代	56	44.6%	33.9%	14.3%	7.1%	8.9%	3.6%
80歳代以上	33	54.5%	21.2%	21.2%	0.0%	3.0%	12.1%
土岐津町	48	66.7%	25.0%	14.6%	2.1%	4.2%	0.0%
下石町	39	48.7%	30.8%	12.8%	5.1%	10.3%	5.1%
妻木町	28	46.4%	39.3%	14.3%	10.7%	17.9%	0.0%
鶴里町	7	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
曾木町	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駄知町	28	32.1%	25.0%	25.0%	10.7%	14.3%	14.3%
肥田町	34	50.0%	20.6%	14.7%	14.7%	8.8%	2.9%
泉町	105	45.7%	25.7%	11.4%	14.3%	7.6%	8.6%

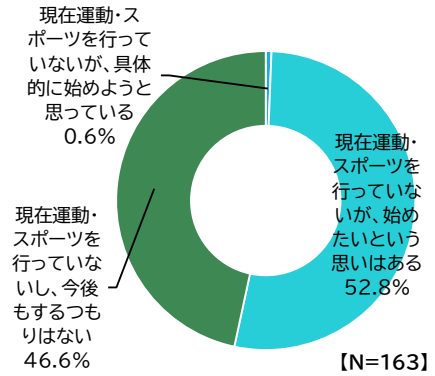
(10)スポーツをしない要因(最も大きな理由)

- 全体としては、「仕事や家事で時間がないから」が多くなっています。
- 年齢別では、20歳代では「余暇時間の使い方として運動・スポーツよりもやってみたいことがあるから」が33.3%で最も多くなっています。次いで「育児で時間がないから」が16.7%が続いています。
- 30～40歳代は、「仕事や家事で時間がないから」がそれぞれ45.8%、52.2%で最も多くなっています。30歳代では、次いで「育児で時間がないから」が20.8%が続いており、多くなっています。
- 50歳代では、「仕事や家事で時間がないから」が34.6%で最も多くなっています。次いで「特に理由はない」が15.4%が続いています。
- 60歳代では、「特に理由はない」が16.7%で最も多くなっています。次いで「仕事や家事で時間がないから」「病气やけがをしているから」が13.3%が続いています。
- 70歳代では、「運動・スポーツが嫌だから」「特に理由はない」が17.6%で最も多くなっています。
- 80歳代以上では「年をとったから」が68.8%で最も多くなっています。



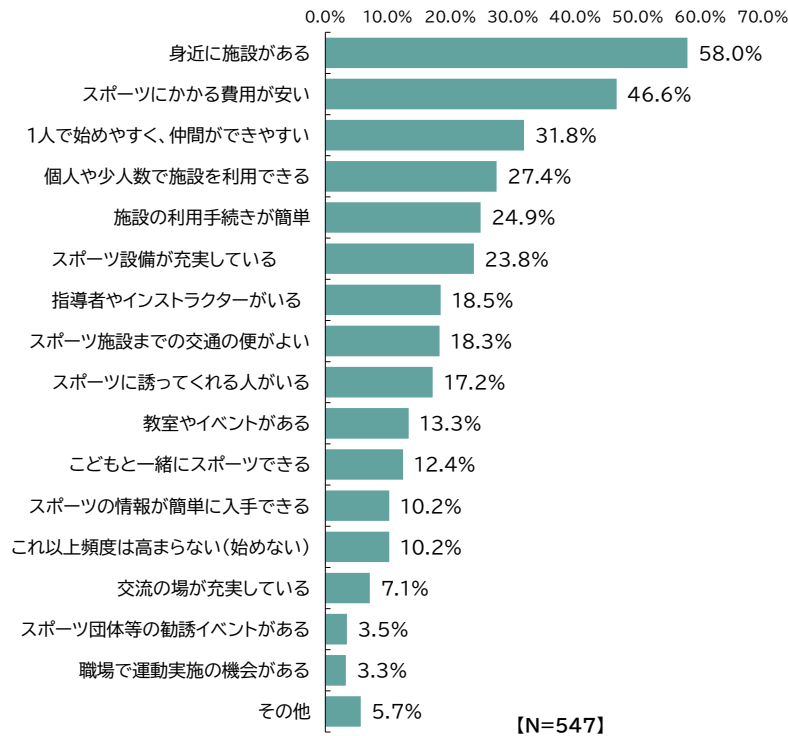
(11) 現在スポーツを行っていない人の今後の意向

- 「始めたいという思いはある」が 52.8%となっています。
- 「今後もするつもりはない」が 46.6%となっています。
- 「具体的に始めようと思っている」は 0.6%にとどまっています。



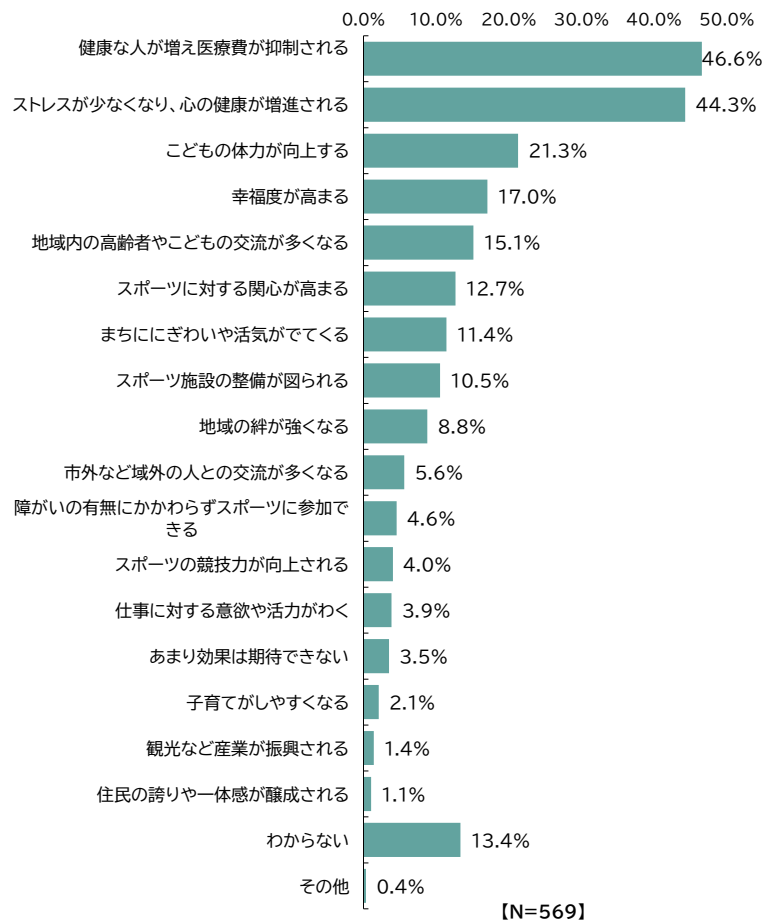
(12) スポーツの習慣化に必要な条件

- 「身近に施設がある」が最も多く 58.0%、次いで「スポーツにかかる費用が安い」46.6%、「1人で始めやすく、仲間がしやすい」31.8%と続いています。



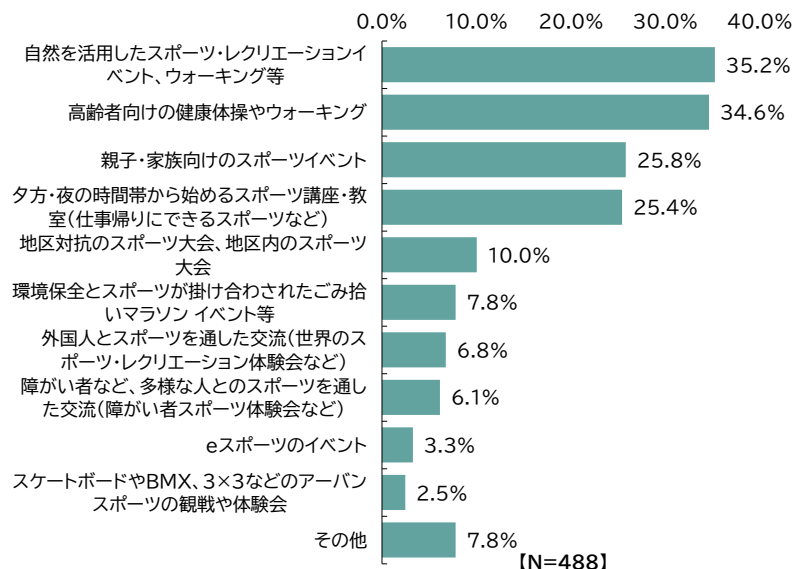
(13)スポーツがまちづくりに与える効果

○「健康な人が増え医療費が抑制される」が最も多く 46.6%となっています。次いで、「ストレスが少なくなり、心の健康が推進される」が 44.3%、「こどもの体力が向上する」が 21.3%と続いています。



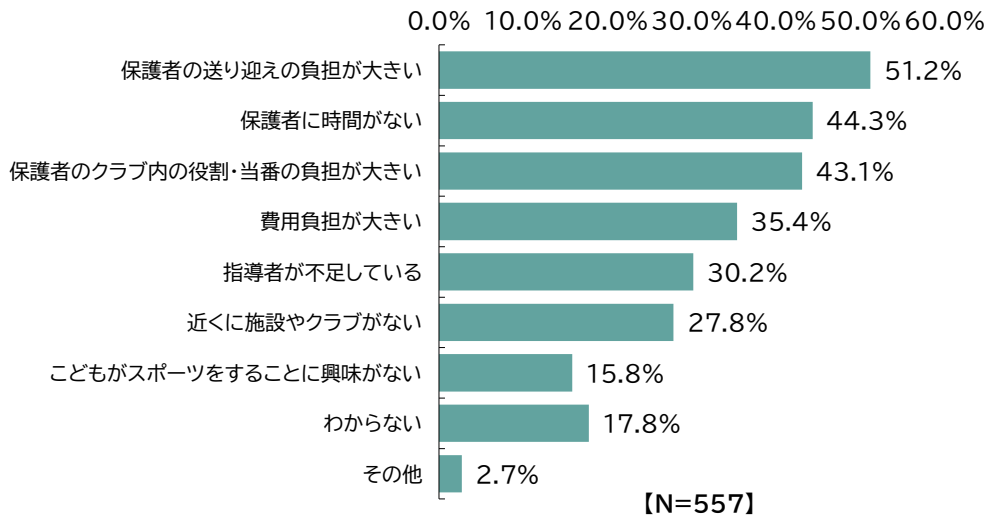
(14)スポーツに関する活動意向

○「自然を活用したスポーツ・レクリエーションイベント、ウォーキング等」が最も多く 35.2%、次いで「高齢者向けの健康体操やウォーキング」が 34.6%、「親子・家族向けのスポーツイベント」25.8%と続いています。



(15)こどものスポーツ実施の課題

- 「保護者の送り迎えの負担が大きい」が最も多く、次いで「保護者に時間がない」「保護者のクラブ内の役割・当番の負担が大きい」と続いています。
- 子育て経験者の意見をみると、全体として、保護者の「送り迎えの負担」や「クラブ内の役割・当番の負担」が大きく、保護者に時間的な負担感があることがうかがえます。
- 「費用負担」も小学生では高く、経済的な面も課題です。
- 中高生では、「指導者が不足している」や「近くに施設やクラブがない」が多い傾向です。



【子育て経験中・経験者のみ】

	N	の保護者が送り迎えの負担が大きい	い保護者に時間がない	担の保護者が大きい当番のクラブ内	費用負担が大きい	い指導者が不足して	ブ近がない施設やクラブ	がなないこどもがスポーツに興味	わからない	その他
全体	379	53.0	48.3	45.9	36.4	31.9	28.2	16.1	14.8	2.9
就学前	42	54.8	66.7	47.6	50.0	31.0	50.0	19.0	4.8	4.8
小学校低学年	35	77.1	62.9	62.9	65.7	25.7	40.0	17.1	2.9	5.7
小学校高学年	38	73.7	60.5	55.3	60.5	39.5	52.6	34.2	2.6	0.0
中学生	47	70.2	53.2	63.8	48.9	48.9	40.4	29.8	6.4	2.1
高校生	42	61.9	47.6	52.4	42.9	35.7	38.1	23.8	9.5	0.0
18歳以上	267	47.6	43.8	42.7	31.5	32.2	21.7	12.7	19.1	2.6

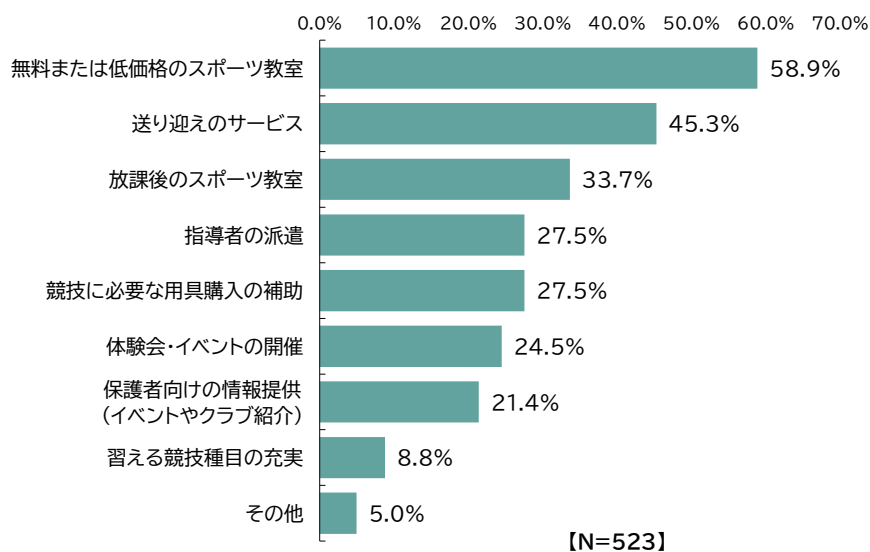
(16)子どもへのスポーツ推進

○「無料または低価格のスポーツ教室」が最も多く 58.9%、「送り迎えのサービス」が 45.3%、「放課後のスポーツ教室」が 33.7%と多くなっています。

○就学前の子どもでは「無料または低価格のスポーツ教室」や「送り迎えのサービス」が多くなっています。

また、他の年齢の子どもと比較して「保護者向けの情報提供」を望む声も多くなっています。

○年齢が上がるにつれて「競技に必要な用具購入の補助」や「指導者の派遣」といったニーズが高まっています。

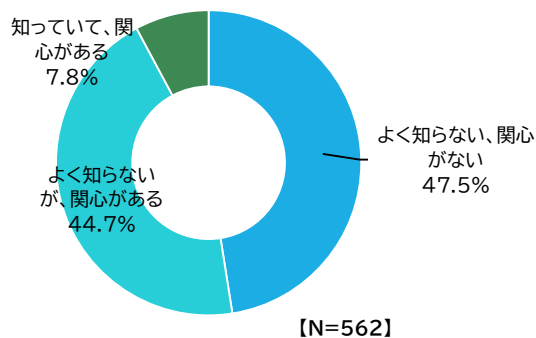


【子育て経験中・経験者のみ】

	N	無料または低価格のスポーツ教室	送り迎えのサービス	放課後のスポーツ教室	指導者の派遣	競技に必要な用具購入の補助	体験会・イベントの開催	保護者向けの情報提供 (イベントやクラブ紹介)	習える競技種目の充実	その他
全体	352	56.5	46.0	36.4	28.1	27.3	25.0	22.4	9.4	6.3
就学前	41	61.0	56.1	51.2	17.1	26.8	39.0	36.6	17.1	2.4
小学校低学年	34	55.9	55.9	47.1	14.7	29.4	29.4	17.6	11.8	14.7
小学校高学年	37	54.1	67.6	51.4	27.0	27.0	29.7	21.6	24.3	5.4
中学生	47	53.2	53.2	36.2	31.9	31.9	19.1	21.3	17.0	8.5
高校生	40	52.5	42.5	30.0	27.5	32.5	22.5	20.0	12.5	7.5
18歳以上	243	57.2	43.6	34.2	30.5	27.2	23.5	21.0	6.6	6.2

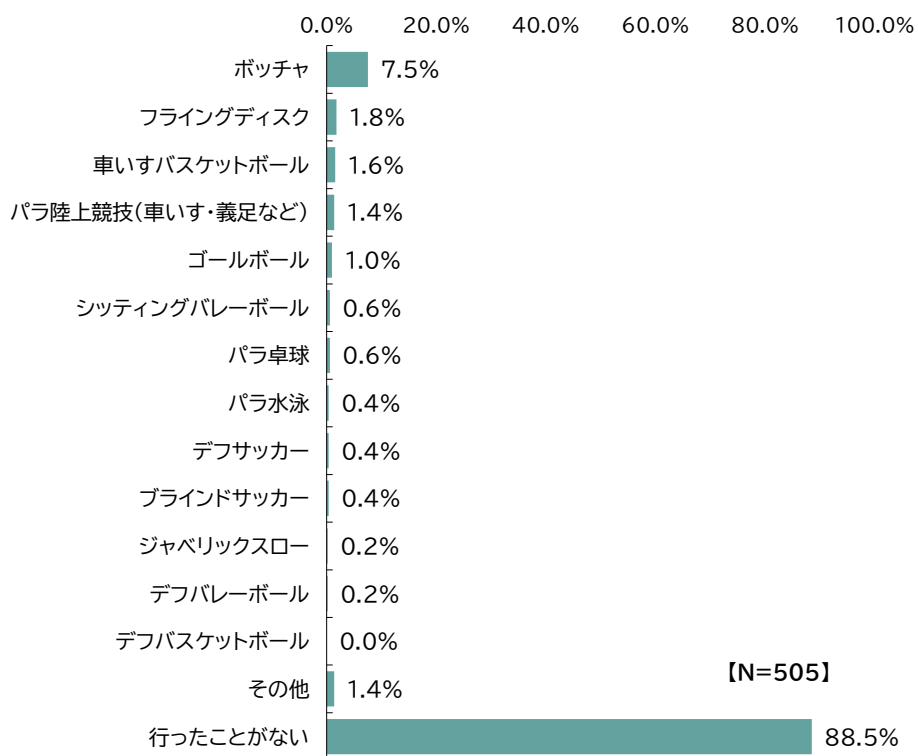
(17) 障がい者スポーツの認知度

- 「よく知らない、関心がない」が 47.5%、「よく知らない、関心がある」が 44.7%となっています。
- 「知っていて、関心がある」は 7.8%にとどまっています。



(18) 障がい者スポーツの実施度

- 「ボッチャ」が最も多く 7.5%、次いで「フライングディスク」が 1.8%、「車いすバスケットボール」が 1.6%と続いています。



2. こどもへのアンケート調査

【調査概要】

1. 目的

本調査は、重点的に施策を実施したいこどものスポーツの実施状況やスポーツに関するニーズを把握するほか、市のスポーツに関する取組について意見を収集することを目的として実施した。

2. 実施方法

- ・土岐市内の小学校5年生、中学校2年生に対し学校を通じてアンケート調査依頼の二次元コード付チラシを配布
- ・回答はオンラインで回収

3. 実施期間

令和7年9月11日 ~ 令和7年9月19日

4. 配布数

922 票

5. 回収数、回収率

550 票・59.7%

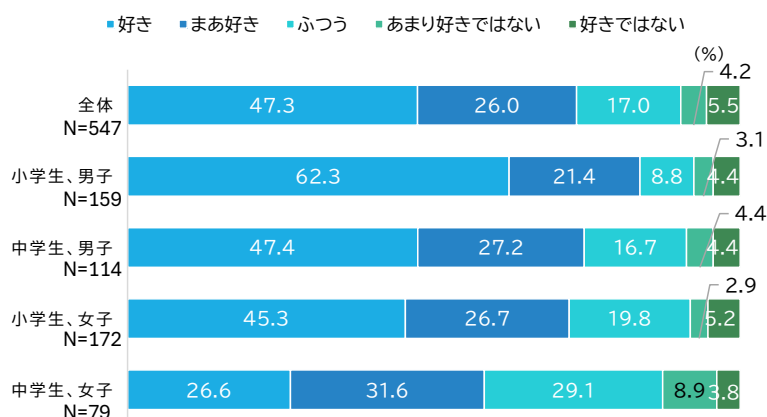
【調査結果】

(1)スポーツへの好意

○スポーツが好きなことも(「好き」と「まあ好き」の合算)は、全体で 73.3%となっています。

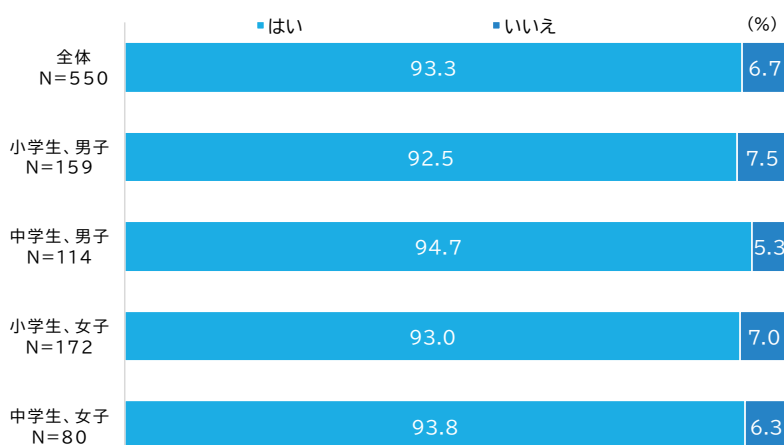
○全体的に小学生の方がスポーツへの好意が強く、男子と女子では、男子の方がスポーツへの好意が強くなっています。

○中学生女子では、スポーツ好きは 58.2%と少なくなっています。



(2)スポーツ実施率(体育外)

○スポーツ実施率は、全体で 93.3%と高くなっています。



(3)実施したスポーツの種類

○全体では、「水泳」「ダンス」「卓球」をしたことが多くなっています。

○実施が4割を超えている種目は、小学生男子では「水泳」「サッカー・フットサル」、中学生男子では「卓球」「サッカー・フットサル」「バスケットボール」、小学生女子では「ダンス」「水泳」、中学生女子では「ダンス」「バレーボール」が多くなっています。

	合計	水泳	ダンス	卓球	フットサル・サッカー	陸上(かけっこ)	バレーボール・ソフトボール	バスケットボール	テニス・ソフトテニス	野球	ボルダリング	スキー・スノーボード(冬季)	合気道・柔剣道・剣道	その他のスポーツ
全体	502	43.8%	35.7%	30.9%	30.3%	28.9%	28.1%	25.7%	20.9%	20.5%	12.9%	12.9%	10.8%	19.9%
小学生、男子	144	47.2%	17.4%	24.3%	43.8%	33.3%	15.3%	29.2%	14.6%	29.9%	15.3%	10.4%	10.4%	14.6%
中学生、男子	105	37.1%	21.9%	44.8%	41.0%	17.1%	37.1%	40.0%	28.6%	37.1%	8.6%	14.3%	17.1%	19.0%
小学生、女子	159	50.9%	53.5%	29.6%	19.5%	36.5%	25.2%	15.7%	22.6%	6.9%	13.8%	13.8%	6.9%	22.6%
中学生、女子	74	29.7%	51.4%	25.7%	13.5%	18.9%	44.6%	21.6%	20.3%	6.8%	13.5%	12.2%	8.1%	20.3%

(4)スポーツの習慣

○定期的にスポーツをしているこどもは、全体で 87.9%です。

○週3～4日しているこどもが最も多くなっています。

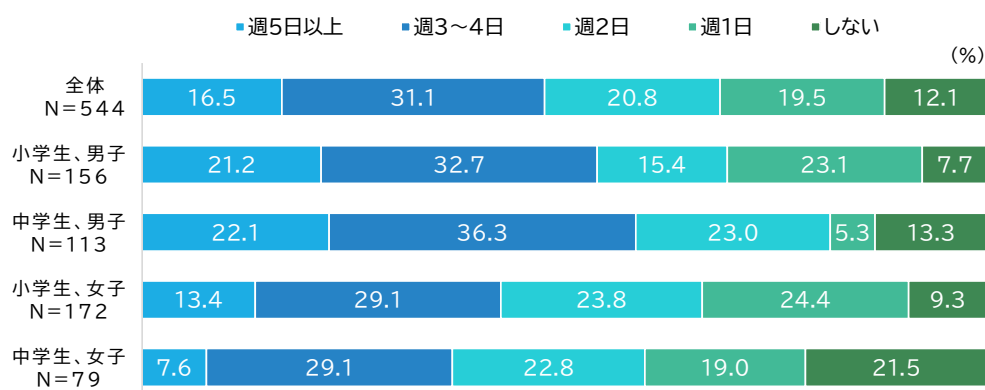
○男子は、小学生より中学生の方が高くなっています。

○女子は、中学生より小学生の方が高くなっています。

【定期的なスポーツ実施率】

○小学生男子 92.3% 中学生男子 86.7%

○小学生女子 90.7% 中学生女子 78.5%



(5)スポーツの状況

○全体では友だちと実施している割合が多く 42.5%となっています。

○「友だち」以外で、小学生男子は、「地域や民間のスポーツチーム・スポーツ教室」が多く 31.4%、中学生男子は「学校の部活・クラブ活動」63.4%と多くなっています。

○小学生女子は、「地域や民間のスポーツチーム・スポーツ教室」が 39.2%、「家族」38.0%、中学生女子は「学校の部活・クラブ活動」が 55.1%と多くなっています。

	N	友だちと	学校の部活、クラブ活動で	家族と	地域や民間のスポーツチームやクラブ、スポーツ教室で	ひとりで	スポーツ少年団で	スポーツをしない	その他
全体	541	42.5%	32.2%	31.6%	30.7%	25.0%	11.6%	7.4%	3.0%
小学生、男子	156	40.4%	24.4%	27.6%	31.4%	20.5%	25.6%	5.1%	0.6%
中学生、男子	112	44.6%	63.4%	29.5%	24.1%	29.5%	5.4%	8.0%	0.9%
小学生、女子	171	46.2%	10.5%	38.0%	39.2%	29.2%	8.2%	6.4%	4.7%
中学生、女子	78	34.6%	55.1%	30.8%	20.5%	17.9%	1.3%	10.3%	2.6%

(6)スポーツの実施場所

○全体では、自宅付近での実施が最も多く 54.4%となっています。ほか「広場や公園」「学校(体育館等)」と続いています。

○土岐市の魅力である、山や川でのスポーツを楽しんでいるこどもは 10.5%となっています。

○小学生は自宅以外で、「広場や公園」を活用し、中学生は「学校(体育館等)」を活用している割合が多くなっています。

	合計	自分の住む家(屋内や庭など)やその周辺	広場や公園	学校(体育館や校庭など)	公共のスポーツ施設	民間のスポーツ施設	自然環境(山・川・海など)	遊歩道	スポーツをしない、体を動かして遊ばない	近所(遊び場)にない、近所(遊び場)にない	その他
全体	542	54.4%	50.0%	41.7%	24.2%	12.4%	10.5%	7.4%	5.5%	2.2%	4.6%
小学生、男子	157	45.9%	54.8%	42.7%	25.5%	13.4%	9.6%	7.6%	5.1%	0.6%	3.8%
中学生、男子	113	49.6%	43.4%	50.4%	34.5%	18.6%	10.6%	8.8%	6.2%	3.5%	3.5%
小学生、女子	169	63.3%	53.8%	34.3%	21.9%	10.7%	11.2%	8.3%	1.8%	2.4%	6.5%
中学生、女子	79	55.7%	38.0%	45.6%	16.5%	7.6%	7.6%	3.8%	12.7%	2.5%	2.5%

(7)スポーツをする理由

○全体では、「スポーツが好き・楽しいから」が最も多く 62.6%となっています。ほか「友だちと一緒にできるから」「体を動かすのが好きだから」と続いています。

○男子は「体力がついて、体が丈夫になるから」が多くなっています。

○女子は「家族や友だちがやっているから」が多くなっています。

○小学生男子では、「プロのスポーツ選手になりたいから」が 24.5%と、他と比較して多くなっています。

	N	スポーツが好き・楽しいから	友だちと一緒にできるから	体を動かすのが好き	体力がついて、体が丈夫になるから	家族や友だちがやっているから	家族や友だちから勧められたから	プロのスポーツ選手になりたいから	スポーツはしない	その他
全体	543	62.6%	45.1%	37.9%	34.3%	18.6%	14.0%	9.8%	7.7%	4.2%
小学生、男子	159	67.3%	50.3%	42.8%	40.9%	14.5%	13.2%	24.5%	5.7%	4.4%
中学生、男子	112	68.8%	50.0%	40.2%	42.0%	14.3%	10.7%	6.3%	8.0%	5.4%
小学生、女子	172	62.2%	37.2%	37.2%	26.7%	25.0%	17.4%	3.5%	5.8%	2.3%
中学生、女子	76	50.0%	48.7%	32.9%	27.6%	21.1%	9.2%	0.0%	11.8%	3.9%

(8)スポーツを始めたきっかけ

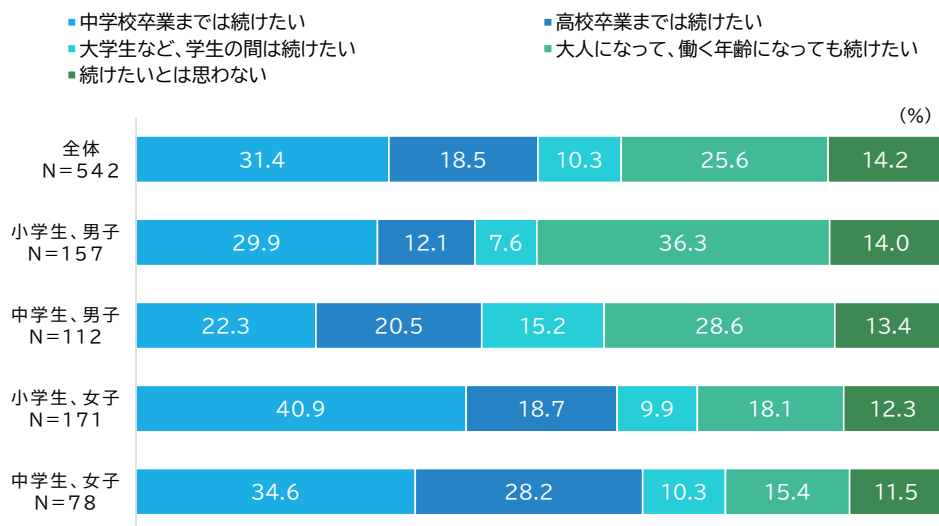
○「友だちがしている・していて楽しそうだった」が最も多く 35.9%となっています。次いで「家族がしている・していて楽しそうだった」が 29.3%、「友だちに誘われたから」が 24.4%と続いています。

○こどもがスポーツを始めるには、身近な人の影響が大きいことがうかがえます。

	N	友だちがしている・していて楽しそうだった	家族がしている・していて楽しそうだった	友だちに誘われたから	家族に誘われたから	いとこや親戚が楽しそうにしていた	近所の人(親戚)が楽しそうにしていた	いとこや親戚に誘われたから	近所の人に誘われたから	スポーツをしていない	その他
全体	529	35.9%	29.3%	24.4%	21.4%	9.6%	3.6%	3.2%	2.3%	8.9%	14.9%
小学生、男子	152	36.8%	30.9%	25.7%	19.1%	10.5%	7.2%	3.9%	3.3%	5.9%	18.4%
中学生、男子	109	38.5%	27.5%	31.2%	20.2%	5.5%	1.8%	0.0%	0.9%	9.2%	12.8%
小学生、女子	169	34.9%	31.4%	21.9%	24.9%	14.2%	2.4%	3.6%	2.4%	6.5%	13.0%
中学生、女子	76	36.8%	27.6%	18.4%	18.4%	3.9%	0.0%	3.9%	0.0%	14.5%	13.2%

(9)スポーツ継続の意向

- 全体では、「中学校卒業までは続けたい」が最も多く、31.4%となっています。次いで「大人になって、働く年齢になっても続けたい」が25.6%と続いています。
- 全体で「中学校まで」「高校まで」「学生の間」など節目の時期でスポーツを終了する意向が、60.2%となっています。
- 男子と比較すると、女子の方が若いうちにスポーツを終了する意向が強い傾向が見られます。



(10)スポーツをしない理由(スポーツを体育外で実施していないこどものみ)

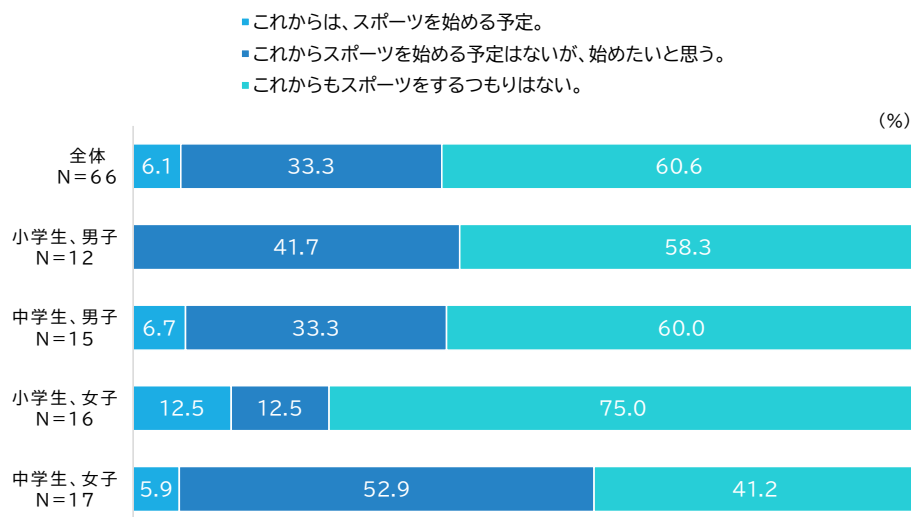
- 全体では、「スポーツにあまり興味がない・好きではないから」が47.0%となっています。次いで「スポーツが苦手だから・上手にできないから」が37.9%と続いています。
- 特に小学生の女子で、「スポーツが苦手だから・上手にできないから」が50.0%と多くなっており、技術的にうまくできないことが実施のネックになっていることがうかがえます。
- 「教えてくれる人がいないから」が中学生男子が13.3%、中学生女子が23.5%と小学生と比較すると多くなっています。小学生時代より技術的な上達を目指す時期の指導者不足が考えられます。

	N	好きではないから	上手にできないから	身体を動かすのがめんどうだから	勉強や習い事が忙しいから	一緒にやる友だちがいないから	家の近くにスポーツをする場所やクラブがないから	スポーツする場につれて行ってくれないから	教えてくれる人がいないから	特に理由はない	その他
全体	66	47.0%	37.9%	31.8%	16.7%	16.7%	12.1%	12.1%	10.6%	24.2%	6.1%
小学生、男子	12	58.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%
中学生、男子	15	46.7%	33.3%	46.7%	13.3%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	6.7%
小学生、女子	16	37.5%	50.0%	6.3%	12.5%	6.3%	12.5%	12.5%	6.3%	31.3%	0.0%
中学生、女子	17	41.2%	35.3%	41.2%	23.5%	29.4%	17.6%	23.5%	23.5%	23.5%	5.9%

(11)今後の取り組み意向(スポーツを体育外で実施していないこどものみ)

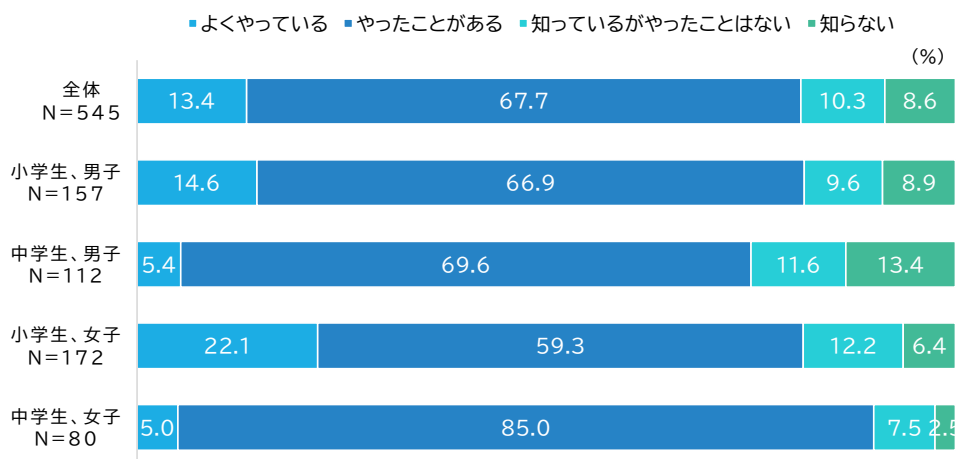
○全体では、「これからもスポーツをするつもりはない」が60.6%と多くなっています。

○特に小学生女子でスポーツをする意向がないこどもが75.0%と多くなっています。



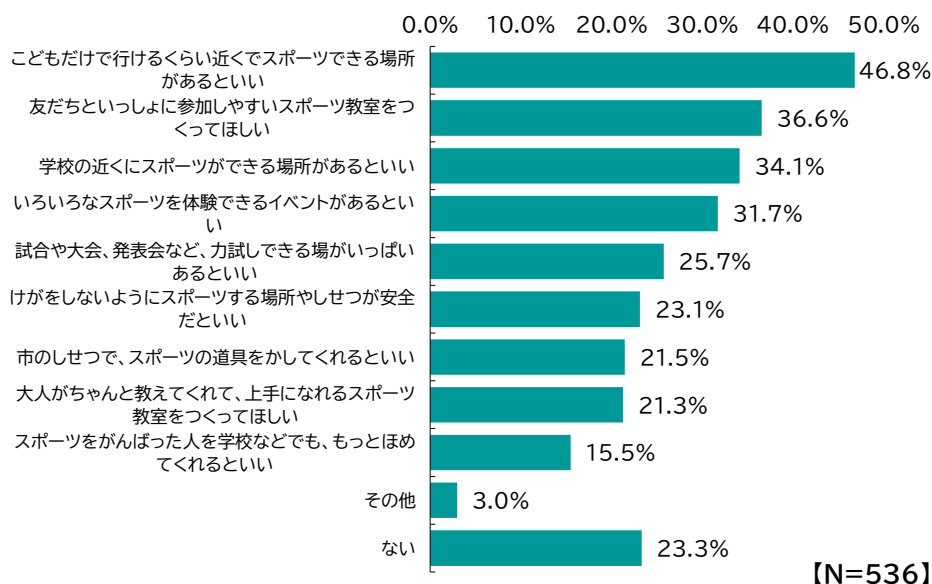
(12)ときげんき体操の認知度

○全体的に認知度が高く、「やったことがある割合」も多く、実施率が81.1%となっています。



(13)希望するスポーツの施策

○「こどもだけで行けるくらい近くてスポーツができる場所」が最も多く 46.8%となっています。次いで「友だちといっしょに参加しやすいスポーツ教室をつくってほしい」が 36.6%、「学校の近くにスポーツができる場所があるといい」が 34.1%と続いています。



(14)実施意向のあるスポーツの種目

○全体では「バレーボール・ソフトバレー」が最も人気が高く、23.6%となっており、次いで「水泳」が 19.4%、「ダンス」が 19.0%と続いています。

【性別・小中学生別実施事項】(上位 3 種目)

○男子小学生は、「サッカー、フットサル」29.9%、「野球」21.7%、「バスケットボール」17.8%。

○男子中学生は、「バレーボール・ソフトバレー」29.7%、「野球」26.1%、「卓球」21.6%。

○女子小学生は、「ダンス」36.3%、「バレーボール・ソフトバレー」28.1%、「水泳」25.7%。

○女子中学生は、「バレーボール・ソフトバレー」32.9%、「ダンス」31.6%、「テニス・ソフトテニス」26.6%。

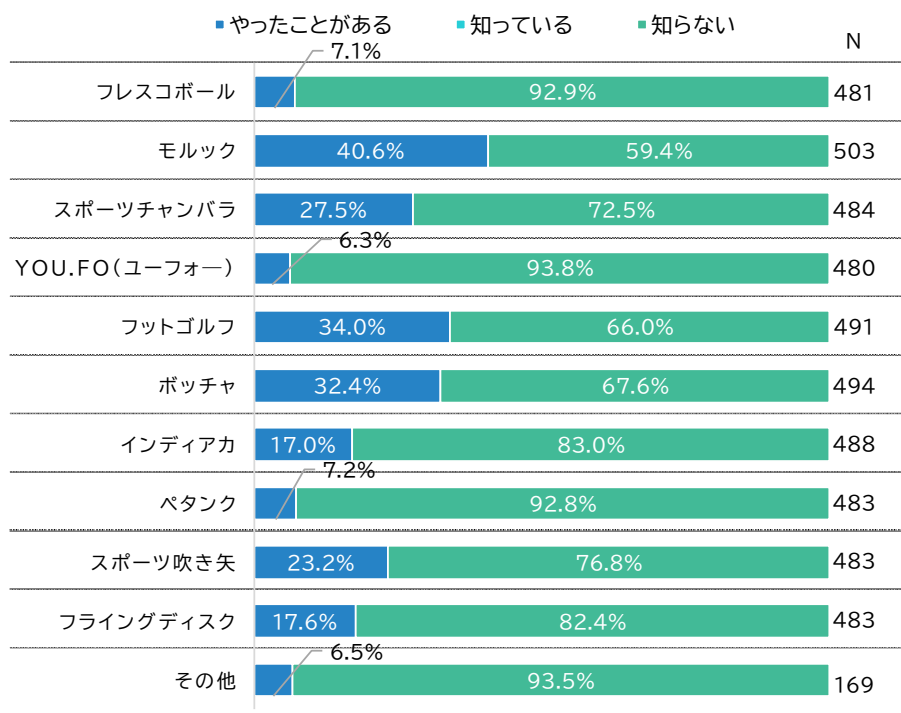
性別 学年 居住地 (小学校区)	N	バレー ボール ・ソフ トバレー	水 泳	ダ ン ス	ソフ トテ ニス ・テ ニス	卓 球	フ ツ タ カ ー ・ フ ツ サ ル	ス キ ー ボ ー ド	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	野 球	陸 上	空 手 ・ 剣 道 ・ 柔 道 ・ 合 気	ボ ル ダ リ ン グ	そ の 他 の ス ポ ー ツ	な い
全体	542	23.6%	19.4%	19.0%	18.8%	17.9%	17.5%	15.3%	15.1%	15.1%	14.2%	11.8%	9.4%	9.8%	11.1%
男子															
小学生	157	11.5%	16.6%	3.8%	10.2%	14.0%	29.9%	10.8%	17.8%	21.7%	17.2%	11.5%	5.7%	10.2%	10.8%
中学生	111	29.7%	18.9%	7.2%	16.2%	21.6%	18.0%	14.4%	20.7%	26.1%	11.7%	10.8%	13.5%	8.1%	15.3%
女子															
小学生	171	28.1%	25.7%	36.3%	24.6%	22.2%	9.9%	21.1%	11.1%	7.6%	19.3%	12.9%	11.7%	9.9%	7.6%
中学生	79	32.9%	13.9%	31.6%	26.6%	15.2%	10.1%	11.4%	11.4%	3.8%	2.5%	11.4%	6.3%	10.1%	10.1%

(15) パラスポーツの認知度・経験

○全体として「知らない」割合が多くなっています。

○すべての種目で「知っている」の回答はなく、こどもは、体験を通じパラスポーツを認知していることがうかがえます。

○「やったことがある」の割合が多い種目は、モルックが 40.6%、フットゴルフが 34.0%、ボッチャが 32.4%となっています。



3. 団体・事業者等へのアンケート調査

【調査概要】

1. 目的

本調査は、市内でスポーツに関連する団体、事業者のスポーツ実施状況や団体の課題、スポーツ環境や施策等へのニーズ等を把握することを目的に実施した。

2. 実施方法

- ・土岐市内のスポーツ関連団体、福祉団体、関連団体、事業者等へ郵送にて紙面の調査票を配布・回収。
- ・回答はオンラインでの回収を併用

3. 実施期間

令和7年9月11日 ~ 令和7年9月19日

4. 配布数

① 市内スポーツ事業者	配布数	4社
② 協会・連盟	配布数	41 団体
③ 競技団体	配布数	27 団体
④ 福祉団体(高齢者)	配布数	3 団体
⑤ 福祉団体(障がい者)	配布数	8 団体

5. 回収数、回収率

① 市内スポーツ事業者	回収数	3票	回収率	75.0%
② 協会・連盟	回収数	27 票	回収率	65.9%
③ 競技団体	回収数	13 票	回収率	48.1%
④ 福祉団体(高齢者)	回収数	2票	回収率	66.7%
⑤ 福祉団体(障がい者)	回収数	5 票	回収率	62.5%

【調査結果】

① 市内スポーツ事業者

1. 回答者概要

- ・ スポーツ教室 2 団体、フィットネス・トレーニングジム1団体

2. 対象年齢層

- ・ 幼児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした事業が展開されています。

3. 課題

主な課題として、以下の点が挙げられました：

- ・ 設備の老朽化・不足
- ・ 指導者・スタッフの確保
- ・ 交通手段の不足による通いづらさ
- ・ 後継者不在

4. 今後の事業方針

上記のような様々な課題があるなかで、維持、もしくは縮小の傾向がでています。

- ・ 「現状維持」が 2 事業者
- ・ 「事業縮小」が 1 事業者

5. 市との連携意向

市内事業者は、市と「連携の意向」があります。

- ・ 「連携したい」が 1 事業者
- ・ 「条件が合えば連携したい」が 2 事業者

② スポーツ関連団体(協会・連盟)

1. 回答者概要

- 協会 27 団体(体育協会、他各種スポーツ協会、連盟等)

2. 運営員の年齢層

協会等の運営員の年齢構成は 50 歳代が最も多くなっています。50 歳代以上が多く、高齢化が進行しています。

(人)					
20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
15	33	61	116	76	44

3. 主な活動内容

各種目の「スポーツ大会」の開催が多く、22 件となっています。その他「地域イベントへの協力」や「教室・講習会の実施」「加盟者・団体の活動支援」などが挙げられています。

(件)	
主な活動内容	回答数
スポーツ大会の開催	22
地域イベントへの協力	13
教室・講習会の実施	10
加盟者・団体の活動支援	10
加盟者・団体同士の交流の機会の創出	7
スポーツ施設の管理・運営	6
指導者の育成・派遣	4
その他	1

4. 主な活動場所

「総合公園」が最も多く、8 件となっています。「その他施設」では、種目に合わせて多様な場所で活動しており、ゴルフ場や乗馬クラブ、セラトビア、コマスイミングスクールなど公共・民間の施設問わずに利用されていることがうかがえます。

(件)	
活動場所	回答数
総合公園	8
学校開放施設	5
大徳原球場	4
駄知体育館	3
総合活動センター	3
スポーツセンター	2
総合射撃場	2
弓道場	2
敷島公園野球場	1
その他施設	16

5. 開催するイベントの規模

10～50人未満が最も多くなっていますが、様々な規模の大会等が開催されています。2,000 人以上の大きなイベントは、泉町文化祭です。

(件)	
イベントの規模(参加者・観覧者含)	数
10～50人未満	12
10～50人未満	2
50～100人未満	6
100～300人未満	8
300～500人未満	1
2000人以上	1

6. 施設利用の理由

「競技を行うための十分な広さがある」が 14 件、「設備が整っていて競技しやすい」が 12 件、「料金が安い(無料含む)」10 件となっています。

施設利用の理由	回答数
競技を行うための十分な広さがある	14
設備が整っていて競技しやすい	12
料金が安い(無料を含む)	10
予約が取りやすい(予約不要を含む)	6
参加者の家から近い	5
交通アクセスが便利	4
その他 (施設が他にない為、土岐市内で競技できる環境がそのみの為、ゴルフ場、サッカーがそこでしかできない、近辺に民家が無く、迷惑をかけない、団体が所有している乗馬クラブ、かつてから縁がある)	6

【施設別利用の理由】

活動場所	理由
総合公園	競技を行うための十分な広さがある、料金が安い(無料を含む)、参加者の家から近い、予約が取りやすい(予約不要を含む)、設備が整っていて競技しやすい、交通アクセスが便利
学校開放施設	料金が安い(無料を含む)、予約が取りやすい(予約不要を含む)、交通アクセスが便利、設備が整っていて競技しやすい、競技を行うための十分な広さがある
大徳原球場	競技を行うための十分な広さがある、参加者の家から近い、交通アクセスが便利、料金が安い(無料を含む)、予約が取りやすい(予約不要を含む)設備が整っていて競技しやすい
駄知体育館	料金が安い(無料を含む)、予約が取りやすい(予約不要を含む)、参加者の家から近い、交通アクセスが便利、設備が整っていて競技しやすい、競技を行うための十分な広さがある
総合活動センター	参加者の家から近い、交通アクセスが便利、競技を行うための十分な広さがある、競技を行うための十分な広さがある
スポーツセンター	料金が安い(無料を含む)、参加者の家から近い、交通アクセスが便利、予約が取りやすい(予約不要を含む)、設備が整っていて競技しやすい、競技を行うための十分な広さがある
総合射撃場	設備が整っていて競技しやすい、競技を行うための十分な広さがある、料金が安い(無料を含む)
弓道場	料金が安い(無料を含む)、設備が整っていて競技しやすい
敷島公園野球場	競技を行うための十分な広さがある

7.施設に関する要望

施設利用に関する要望としては、「利用開始時間をもっと早くしてほしい」が最も多く6件となっています。設備面では「空調設備(冷暖房)の設置」が最も多く9件となっており、快適な環境整備へのニーズが高まっています。また、「駐車場を充実してほしい」なども挙げられています。

施設の利用		施設の設備	
利用開始時間をもっと早くしてほしい	6	空調設備(冷暖房)を設置してほしい	9
利用料金をもっと安くしてほしい	3	駐車場を充実してほしい	8
市内スポーツ団体には、優先予約制度を設けてほしい	3	シャワー設備を設置してほしい	6
施設の予約システムをわかりやすく	3	更衣室を設置してほしい・増やしてほしい	6
ウェブサイトを見やすくしてほしい	2	トイレの清潔さ・数の充実	6
公共交通(バス)でアクセスしやすく	2	観客席・休憩スペースを充実してほしい	5
利用終了時間をもっと遅くしてほしい	2	バリアフリー対応(スロープ、手すり、みんなのトイレなど)にしてほしい	4
利用者の声を反映する仕組み(オンラインの意見投票箱など)を作してほしい	2	自販機などを設置してほしい	3
個人利用も可能にしてほしい	1	照明設備(夜間利用可能な明るさ)の充実	2
利用方法やルールを多言語で案内	1	備品の貸出(ボール、ネットなど)の充実	2
利用者同士の交流イベントの開催	1	多目的室(会議などに利用可能)を設置してほしい	2
スタッフによる案内・サポートの充実	1	子ども向け設備(遊具、キッズスペースなど)を設置してほしい	1
予約できる開始時期を早めてほしい	1	外国語表示・案内板を充実してほしい	1
その他	5	その他	8

8.活動の課題

「新しい会員が増えず、メンバーが固定化・高齢化している」が最も多く21件となっています。その他「指導者の人数が不足している」「指導者の後継者が見つからず、育成が進んでいない」など人材に関わる課題が多く挙げられています。その他、資金面についての課題も挙げられています。

課題	回答数
新しい会員が増えず、メンバーが固定化・高齢化している	21
指導者の人数が不足している	10
指導者の後継者が見つからず、育成が進んでいない	10
練習や大会に使える施設が限られている	9
利用している施設の設備が十分ではない	7
団体の運営に必要な資金が不足している	7
競技そのものの知名度が低く、関心が持たれにくい	5
活動場所までの移動手段がなく、アクセスが不便	5
活動できる時間や曜日が限られている	4
活動内容がマンネリ化し、団体の活気が失われつつある	3
地域や家族などから活動への理解が得られにくい	3
その他)	3
団体の存在が地域にあまり知られていない	2
会員が団体運営に積極的に関わってくれない	1
特になし	1
加盟団体や他の類似団体との交流や連携の機会が少ない	1
スポーツ活動に関する情報が手に入りにくい	1
練習の成果などを見せたり、力試する場がない・少ない	1
ICTを活用した競技力向上をしたいが、システム導入などが難しい	1

9.課題解決に向け取り組んでいること

資金面について「助成金の申請や、地域企業への協賛依頼を行っている」といった取り組みや、「後継者候補に役割を少しずつ任せている」「体験会や広報活動を通じて新規会員の募集を行っている」といったように人材育成、新規確保に取り組んでいることがうかがえます。

取り組んでいること	回答数
助成金の申請や、地域企業への協賛依頼を行っている	6
後継者候補に役割を少しずつ任せている	6
体験会や広報活動を通じて新規会員の募集を行っている	6
団体内での親睦会などイベントごとを設けている	4
より多くの人気が気軽に参加、観覧できる大会等の開催を検討している	4
特に取り組んでいることはない	4
団員同士で協力し移動支援をしている	4
地域イベントで活動内容を紹介している	3
加盟団体や類似団体と意見交換会などを開催している	2
SNS を活用し、競技の魅力を紹介している	2
若手や保護者への指導者講習会を開催している	1
競技団体との交流や競技を観覧して、活気を生むきっかけをつくっている	1

10.今後 10 年間の見通し

「競技人数が高齢化・減少し、団体数も減少する見込み」が 19 件と最も多くなっています。協会等の団体は、今後縮小する団体の増加が見込まれます。

その理由としては、主に人口減少、競技人口の減少、高齢化などが挙げられています。

3 年以内に結成された「土岐市パワーリフティング協会」は、現在 6 名の団体ですが、今後も拡大しそうな見込みとなっています。

今後の貴団体の見通し(今後 10 年)	回答数
競技人数が高齢化・減少し、団体数も減少する見込み	19
競技人数は横ばいで、団体数も現状と当面変わらない見込み	5
注目が集まり競技人数も増え、団体数も増え、さらに拡大しそう	1
わからない	2

11.希望する支援

「競技の魅力伝える広報支援」が 10 件と最も多くなっています。その他に「学校と連携した競技体験教室の実施」「市の広報誌や HP での紹介」「SNS や地域広報誌での団体紹介」といったような PR や情報発信についての支援の希望が多く挙げられています。

希望する支援(上位 14 項目)	回答数
競技の魅力伝える広報支援	10
学校と連携した競技体験教室の実施	8
市の広報誌や HP での紹介	8
SNS や地域広報誌での団体紹介	8
若い世代へ向けた競技体験イベントの開催	7
看板やポスター、チラシ作成の支援、掲出場所の提供	5
外部指導者の派遣制度の導入	4
地域事業者との協賛マッチング支援	4
民間施設、事業者との連携支援	3
指導者養成講座の開催	3
競技に関する ICT 機器購入への補助制度	3
競技と直接関連性がないが、ターゲットの集まる地域イベントで PR 機会の提供	3
関連団体で情報共有のための LINE 等のネットワーク構築支援	3
その他	4

15. 学校部活動の地域展開の課題

「運動部を選択する子どもが減少している」が 13 件、「指導者の人数が不足している」が 11 件となっており、これらの課題は、競技団体と同じ傾向となっています。

学校部活動の地域展開の課題(上位 12 項目のみ)	回答数
運動部を選択する子どもが減少している	13
指導者の人数が不足している	11
競技そのものの知名度が低く、入部を希望する中学生がいない・少ない	7
中学生のための活動費の負担が不明確である	6
中学生のための活動場所の確保が難しい	6
中学生のための活動時間・曜日の調整が困難である	6
中学生のための設備(競技に使う器具・道具)の確保が難しい	6
団体の存在が地域にあまり知られていない	5
指導者の後継者が見つからず、育成が進んでいない	4
指導者の中学生への指導経験が不足している	4
活動場所までの移動手段がなく、アクセスが不便	4
地域や家族などから活動への理解が得られにくい	2

16. 新たな市民交流になりそうな取組アイデア

- ・ ウォーキング大会、駅伝大会を町外の方にも参加して頂けると盛り上がると思います。
- ・ ニュースポーツ/レクリエーション競技の紹介、用具の貸出
- ・ 小さいお子さんの参加するイベントには親やおじいさんおばあさんなど多く集まるので、小さいお子さんから高齢者まで参加できるイベントがあるといいですね。
- ・ 会員と一緒に楽しむ会が開けると良いかなとおもいます。
- ・ 学校の体育の授業で扱ってもらう
- ・ 当練習トレーニングジムと同じ場所に通う方々、クラブ移行で迷う中学生。

17. 市との連携可能性

市との連携については、「条件が合えば連携した」が 14 件と最も多くなっています。「現時点では考えていない」が 7 件、「連携したい」が 4 件でした。

連携可能性	回答数
条件が合えば連携したい	14
現時点では考えていない	7
連携したい	4

18. 連携した取り組み案

- ・ 土岐市スポーツフェスティバル
- ・ 助成金について
- ・ フェスティバルでは子ども連れのかたが、多く見られます。年輩の方に来て頂きたい。

19. 自由意見(一部抜粋)

- ・ 実際大会、競技を既存のままではなく 10 年後を見据えて再考する必要があると考えます。
- ・ 市民スポーツ大会等々の参加申込を紙ベースでは無く、Web を使った申込にして欲しい。
- ・ スポーツ施設の整備、特に屋内施設。
- ・ 土岐市スポーツ協会は非常に熱心で 所属させてもらっていて本当にやりがいを感じています。競技の特殊性で将来の見通しが暗いのが残念です。
- ・ 市内や学校単位にて小規模での講習会を開催してはどうか。
- ・ 現在、一般利用の方と同じ施設を利用しているため、他の方々の時間やスペースを奪ってしまわないようにと気をつけながら実施しています。また、当協会道具備品も一般更衣室をお借りして置かせていただいています。ぜひ、専用施設やスペースができれば一般利用の方々と当団体のお互いにとってありがたいです。

③ スポーツ関連団体(競技団体)

1. 回答者概要

- ・ 競技団体 13 団体(各種スポーツ競技団体)

・バレーボール 3 団体、野球 2 団体、テニス 2 団体、 ほか 卓球、バドミントン、バスケットボール、インディアカ、スポンジテニス レクリエーション・マレットゴルフ・民踊・マンカラ・3B 体操	各 1 団体
--	--------

2. 主な活動地域と実施種目

駄知町が最も多く、6 団体となっており、種目は、野球、バレーボール、インディアカなどとなっています。その他の地区でも様々な種目が実施されています。

【競技団体】

地区	回答数	種目
駄知町	6	野球、バレーボール、インディアカ、その他
泉町	4	野球、バドミントン、バスケットボール、その他レクリエーション等
肥田町	3	テニス、バレーボール、その他レクリエーション等
妻木町	2	卓球、その他レクリエーション等
下石町	2	バレーボール、その他レクリエーション等
土岐津町	2	テニス、その他レクリエーション等
鶴里町	1	その他レクリエーション等
市外	2	野球、その他レクリエーション等

3. 活動頻度

活動頻度は「週 1 回以上」が 9 件と最も多く、継続的な活動が行われています。その他「月 2～3 回」が 3 件、「不定期」が 1 件となっています。

活動頻度	回答数
週1回以上	9
月2～3回	3
不定期	1

4. 活動時間帯

平日の活動時間帯では「夜間(19:00～)」が最多の 7 件、休日では「午前(9:00～12:00)」と「活動なし」が同数の 5 件と多くなっています。

平日(月～金)	回答数	休日(土・日・祝)	回答数
午前(9:00-12:00)	2	午前(9:00-12:00)	5
午後(12:00～16:00)	0	午後(12:00～16:00)	1
夕方(16:00～19:00)	2	夕方(16:00～19:00)	0
夜間(19:00～)	7	夜間(19:00～)	2
なし	2	なし	5

5. 主な活動場所

活動場所については、「学校開放施設」が最も多く 8 件となっており、地域の公共施設が広く活用されています。その他、「駄知体育館」「スポーツセンター」「野球場」なども利用されています。

活動場所	回答数	活動場所	回答数
学校開放施設	8	スポーツセンター	1
総合活動センター	1	駄知体育館	1
大徳原球場	1	その他施設(駄知中学校グラウンド、妻木公民館、各地区の公民館)	3
敷島公園野球場	1		

6.活動場所の選定理由

活動場所を選ぶ理由としては、「料金が安い(無料を含む)」が最多の 9 件、「参加者の家から近い」が 8 件、「競技するのに十分な広さがある」が 6 件となっています。経済的負担の軽減やアクセスの良さが重視されている傾向が見られます。

選定理由	回答数
料金が安い(無料を含む)	9
参加者の家から近い	8
競技するのに十分な広さがある	6
交通アクセスが便利	5
設備が整っていて競技しやすい	4
予約が取りやすい(予約不要を含む)	3
その他	2

7.施設に関する要望

施設利用に関する要望としては、「予約システムをわかりやすくしてほしい」などが挙げられています。設備面では「空調設備(冷暖房)の設置」が最も多く 7 件となっており、快適な環境整備へのニーズが高まっています。

施設の利用		施設の設備	
施設の予約システムをわかりやすく	3	空調設備(冷暖房)を設置してほしい	7
個人利用も可能にしてほしい	1	トイレの清潔さ・数の充実	3
利用料金をもっと安くしてほしい	1	照明設備(夜間利用可能な明るさ)の充実	1
利用者の声を反映する仕組み(オンラインの意見投票箱など)を作してほしい	1	備品の貸出(ボール、ネットなど)の充実	1
その他	3	その他	3

8.現在の課題

「新しい会員が増えず、メンバーが固定化・高齢化している」が 8 件で最も多くなっています。その他「施設設備が十分でない」「指導者の人数が不足している」などが挙げられています。

現在の課題	回答数
新しい会員が増えず、メンバーが固定化・高齢化している	8
利用している施設の設備が十分ではない	3
指導者の人数が不足している	2
団体の存在が地域にあまり知られていない	2
団体の運営に必要な資金が不足している	1
指導者の後継者が見つからず、育成が進んでいない	1
競技そのものの知名度が低く、関心が持たれにくい	1
特になし	2

9.課題解決に向け取り組んでいること

「特に取り組んでいない」が 8 件と最も多く、対応が進んでいない団体が多い状況です。一方で、「SNS を活用した魅力発信」「体験会の実施」など、積極的な取組も一部で見られます。

課題への取組	回答数
特に取り組んでいることはない	8
SNS を活用し、競技の魅力を紹介している	2
体験会や広報活動を通じて新規会員の募集を行っている	1
団員同士、または保護者同士で協力して移動支援を行っている	1
開催される大会に積極的に参加したり、貴団体主催、もしくは他団体と連携して大会を開催している	1
後継者候補に役割を少しずつ任せている	1
地域イベントで活動内容を紹介している	1
その他	3

10.高齢者、外国の方、障がいのある方など、多様な方への対応

- ・ 実施していない 11 件 実施している 2件
 (具体的な内容)
 - ・ 還暦野球チームも所有して活動している
 - ・ 要望があれば、高齢者施設、障がい者、小学校など

11.どのような支援があれば、多様な方がスポーツを推進するための取組が可能になるか

「専門スタッフの派遣」が 4 件と最も多くなっています。その他、「バリアフリー施設の整備」「広報支援」「参加費の補助」などが求められています。

多様な方へのスポーツ推進に必要な支援	回答数
専門スタッフの派遣(障がい者スポーツ指導員、多文化対応スタッフなど)	4
バリアフリー施設の整備・優先利用枠の設定	2
用具・備品の提供(ユニバーサルデザインの器具など)	2
広報支援(多言語チラシ、SNS 発信など)	2
参加費の補助・助成制度	2
地域団体とのマッチング支援(協力団体の紹介など)	1

12.学校部活動の地域展開の状況

「実施していない」が 7 件、「実施している」が 4 件となっています。「地域展開の動向を知らない」も 2 件あります。

学校部活動の地域展開	回答数
実施していない	7
実施している	4
地域展開の動向を知らない	2

13. 学校部活動の地域展開の課題

「運動部を選択する子どもが減少している」が6件、「指導者の人数が不足している」が5件となっています。その他「保護者の協力不足」「活動場所の確保困難」など、複合的な課題がうかがえます。

学校部活動の地域展開の課題	回答数
運動部を選択する子どもが減少している	6
指導者の人数が不足している	5
指導者の中学生への指導経験が不足している	2
団体の存在が地域にあまり知られていない	2
保護者が団体運営に積極的に関わってくれない	2
中学生のための活動場所の確保が難しい	1
地域や家族などから活動への理解が得られにくい	1
指導者の後継者が見つからず、育成が進んでいない	1
中学生のための活動時間・曜日の調整が困難である	1
中学生のための活動費の負担が不明確である	1
競技そのものの知名度が低く、入部を希望する中学生がいない・少ない	1
特になし	3

14. 今後10年間の見通し

「団体の人数は現状と同程度で年齢構成も変わらず、活動も現在のまま継続される見込み」が4件、「わからない」が同数の4件となっています。

今後の貴団体の見通し(今後10年)	回答数
団体の人数は現状と同程度で年齢構成も変わらず、活動も現在のまま継続される見込み	4
団体の人数は減少するが、年齢構成は維持され、活動も現在のまま継続される見込み	1
団員の高齢化により人数が減少し、活動も縮小される見込み	1
団体の人数が増加し、若い世代の参加もあるが、活動は現在のまま維持される見込み	1
わからない	4

15. 市との連携意向

市との連携については、「現時点では考えていない」が9件と最も多く、連携に対して慎重な姿勢が見られます。「条件が合えば連携したい」が2件、「連携したい」が1件でした。

連携可能性	回答数
現時点では考えていない	9
条件が合えば連携したい	2
連携したい	1

16. 連携した取組案

- ・ クラブ入会の体験会を11月～12月に市の窓口で開催を希望します。
- ・ 広報に載せて欲しいです。

17. 自由意見

- ・ 各競技の役員の若返りをしていきたいですね。
- ・ バドミントンは市内に中学のクラブが無いので、土岐ジュニアを卒業したら中学では別のスポーツを選択するしかない。市内に中学生のクラブがあれば続けたい子もいるだろうし、土岐ジュニアに入る小学生も増えるかも知れない。
- ・ いつも親切に教えていただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・ イベント等開催される際には、ぜひお声をかけて頂けるとレクリエーション普及活動になりますので、よろしくお願いします。
- ・ いつも大変お世話になっております。まだまだ小さな集団ですが、土岐市民、小さなお子様から高齢の方、すべてを対象に様々なレクリエーションと一緒に伝えていきたいと思っております。

④ 福祉関連事業者・団体(高齢者・障がい者)

1. 回答者概要

- ・ 高齢者 2団体

デイサービス、社会福祉協議会 運営(11~20人、21人以上) 活動エリア(駄知町、下石町、泉町)

- ・ 障がい者 5団体 (身体障害4団体・知的障害4団体・精神障害2団体・発達の遅れ全般 2 団体)

NPO 法人、事業者、社会福祉協議会等 運営(11人~20人・3団体、21人以上・2団体) 活動エリア(肥田町、泉町、下石町、土岐津町、妻木町、鶴里町、曾木町、駄知町、市外)

2. スポーツや運動の導入状況

高齢者団体、障がい者団体ともにスポーツを取り入れていることがうかがえます。

高齢者		障がい者	
積極的に取り入れている	1	積極的に取り入れている	1
一部取り入れている	1	一部取り入れている	3
		取り入れていない	1

3. 実施している、または取り入れたいスポーツ・運動

高齢者では、「軽い筋力トレーニング」、障がい者では、「ストレッチ」「ラジオ体操」などを実施していることがわかります。「ときげんき体操」も1団体ずつですが実施されています。

高齢者		障がい者	
軽い筋力トレーニング	2	ストレッチ	3
ときげんき体操	1	ラジオ体操等	3
ラジオ体操等	1	筋力トレーニング	1
ストレッチ	1	ときげんき体操	1
		【その他】ドッジボール、なわとび、さんぽ、卓球、バドミントン、キャッチボール等	

3-1 【高齢者】スポーツをする方の年齢

福祉団体を利用している75歳以上の高齢者は、施設でスポーツを実施していることがうかがえます。

団体 A	団体 B	
75歳以上 13名程度	60~64歳	1人
	65~69歳	2人
	70~74歳	5人
	75歳以上	105人
	合計	113人

4. スポーツ・運動を取り入れる目的

高齢者、障がい者ともに「健康維持・体力向上のため」が多くなっています。

高齢者		障がい者	
健康維持・体力向上のため	2	健康維持・体力向上のため	4
心身のリフレッシュ・ストレス解消のため	1	身体のリハビリのため	4
障がいのある方のリハビリを兼ねて	1	自立支援・生活リズムの安定のため	3
自立支援・生活リズムの安定のため	1	心身のリフレッシュ・ストレス解消のため	3
フレイル予防のため	1	楽しみ・趣味としての活動のため	2
		自己表現や達成感を得るため	1
		社会参加・地域との交流のため	1
		障がいのある方の可能性を広げるため	1
		仲間づくり・コミュニケーションの促進のため	1

5. スポーツ・運動による効果がみられたか

高齢者団体では、「高齢者自身の健康意識が向上した」が挙げられており、障がい者団体では、「心身のリフレッシュ・ストレス解消ができた」が挙げられています。健康だけでなく、「自己表現や達成感を得た」などの効果も見られます。

高齢者		障がい者	
高齢者自身の健康意識が向上した	2	心身のリフレッシュ・ストレス解消ができた	3
心身のリフレッシュ・ストレス解消ができた	1	自己表現や達成感を得た	2
健康維持・体力の向上につながった	1	自立支援・生活リズムが安定した	2
フレイル予防への効果が見られた	1	健康維持・体力の向上につながった	2
		身体のリハビリにつながった	2
		仲間ができ・コミュニケーションをたくさん取れるようになった	1
		趣味や楽しみが増えた	1
		障がいのある方自身の健康意識が向上した	1
その他の意見【障がい者】 なわとびに対する苦手意識が強かったが、出来るようになり苦手が、自分からやりたいに変わった。など			

6. スポーツを実施するにあたっての課題

高齢者、障がい者ともに「運動に使える道具や教材が足りない」「運動の指導をサポートしてくれる人材がほしい」「十分な広さや使いやすい場所が確保しづらい」「職員の負担が増えすぎないか心配」が共通で挙げられています。

高齢者		障がい者	
運動に使える道具や教材が足りない	1	運動に使える道具や教材が足りない	2
運動の指導をサポートしてくれる人材がほしい	1	運動の指導をサポートしてくれる人材がほしい	2
十分な広さや使いやすい場所が確保しづらい	1	十分な広さや使いやすい場所が確保しづらい	2
職員の負担が増えすぎないか心配	1	職員の負担が増えすぎないか心配	2
		障がい者のけがなどが心配	1
		ご利用者の体調や体力に合わせるのがむずかしい	1

7.【障がい者】運動・スポーツを実施する際の市の施設等利用状況

市内の施設を利用していないことがうかがえます。

- ・ ない 3団体
- ・ ときどきある(市外) 1団体

8.【高齢者】土岐市の取り組みについての実施状況

「ときげんき体操」の活用は1団体となっています。

「ときげんきサーキット」は活用されていないことがうかがえます。

土岐市の取り組み	回答
「ときげんき体操」を、活用していますか	・知っているが、取り組んだことはない 1団体 ・知っており、定期的を実施している 1団体 (昼食時に行う機能訓練の1つとして、ストレッチ体操として活用している。)
「ときげんきサーキット」を活用していますか	・知らないし、利用したこともない 2団体

9.市の施設への希望

高齢者団体では、「同年代の方と交流できる場として使えると嬉しい」「室内で天候に左右されずに運動できる場所があると嬉しい」などの様々な意見が挙げられています。

障がい者団体で「トイレや更衣室が障がい者にも使いやすいと助かる」が最も多くなっています。

高齢者		障がい者	
同年代の方と交流できる場として使えると嬉しい	1	トイレや更衣室が障がい者にも使いやすいと助かる	4
室内で天候に左右されずに運動できる場所があると嬉しい	1	専門のスタッフや障がいに理解があるスタッフがいて安心して参加できる	3
専門のスタッフや見守り体制があると安心して参加できる	1	室内で天候に左右されずに運動できる場所があると嬉しい	3
健康づくり介護予防のプログラムがあると参加しやすい	1	段差が少なく、歩きやすい施設だと安心できる	2
		休憩スペースやベンチが充実しているとありがたい	2
		同年代の方と交流できる場として使えると嬉しい	1
		他の団体と交流できる場として使えると嬉しい	1
		スポーツ用具や補助器具の貸し出しがあると嬉しい	1

10.施設外で定期的にスポーツや運動をしている方

高齢者、障がい者団体ともに、施設外で定期的にスポーツを実施しているのは、1割程度となっています。

高齢者		障がい者	
1割未満	1	1割未満	3
わからない	1	2~3割程度	2

11.【障がい者】施設外で参加・実施しているスポーツの取組

- ・ ラジオ体操等、パラスポーツ(ボッチャ、フライングディスク)、ストレッチ

12.高齢者が参加しやすいと感じるスポーツ・運動の種類

- ・ 軽い筋力トレーニング、体操(ときげんき体操、ラジオ体操など)、ストレッチ

13. スポーツ活動に参加する上での主な障壁

高齢者、障がい者ともに、移動手段が障壁になっていることがうかがえます。

高齢者		障がい者	
移動手段がなく、会場まで行くのがたいへん	2	会場までの移動手段の確保が難しい	3
体調や体力に不安がある	1	体調や障がいの特性により継続が難しい	2
		参加に対する本人や家族の不安がある	2
		活動に必要な道具や費用の負担が大きい	2
		活動に関する情報が届きにくい・探しにくい	2
		活動できる時間帯や場所が限られている	1
		一緒に活動する友人がいない・少ない	1
		その他(付き添いの確保が難しい)	1

14. 土岐市が主催するスポーツ事業に対して、どのような支援があれば参加しやすいか

高齢者では、「専門素タツプの派遣」が2件、障がい者では「会場までの移動支援」が5件、「障がいに理解のあるスタッフやサポーターの配置」が4件となっています。移動支援のほか、介護等ができる専門スタッフの支援が求められています。

高齢者		障がい者	
専門スタッフの派遣	2	会場までの移動支援	5
送迎支援	1	障がいに理解のあるスタッフやサポーターの配置	4
		障がい者を支援する団体の取組の情報発信	2
		わかりやすい案内や広報	2
		参加費の負担	1

15. 市との連携可能性

「現時点では考えていない」が多くなっています。

高齢者		障がい者	
現時点では考えていない	1	現時点では考えていない	3
条件が合えば連携したい	1	条件が合えば連携したい	2

16. 自由意見

- ・ デイサービスへ訪問していただくと、参加しやすいです。(高齢者)
- ・ 市のスポーツ施設(体育館など)が、放課後等デイサービスとしても気軽に利用できる料金体系になると、利用者がより身近に運動やスポーツに触れる機会が広がります。特に障がいのある子どもにとっては、健康づくりや自己肯定感の向上、地域との交流につながるため、大きな意義があると感じています。(障がい者)

第1期 土岐市スポーツ推進計画

令和8(2026)年3月

発行：土岐市(地域振興部スポーツ振興課)

〒509-5192 岐阜県土岐市土岐津町土岐口 2101

TEL.0572-54-1111

URL : <https://www.city.toki.lg.jp>

